

取扱い注意・説明書の表示価格について

2019 年 10 月 1 日より、消費税率が 10%に変更されます。
それに伴い、「取扱い注意・説明書」に記載されている価格および送料も変更となります。
2019 年 10 月 1 日以降にパーツをご注文いただく場合は、以下のとおりご対応ください。

【パーツのご注文】**10 月 1 日以降**にアフターサービス部に到着したご注文は、消費税 10%となります。

●まずは説明書の表示価格をご確認ください

各説明書の「パーツリスト」や「別売パーツ」の項目などに、「税別」または「税込」の記載があります。

説明書が「**税込表示**」の場合

「**税込**」の記載がある説明書では、
表示価格が「**5%の税込価格**」となっています。
ご注文が 10 月 1 日以降にアフターサービス部に到着した場合、
「税込価格」と「送料」が変更となりますのでご注意ください。

→【A】パーツのご注文：「**税込表示**」の説明書の場合

説明書が「**税別表示**」の場合

「**税別**」の記載がある説明書には、2 種類の旧送料があります。
価格につきましては、アフターサービス部への到着が 10 月 1 日以降となるご注文より「10%の税込価格」でお申し込みください。また、旧送料の場合、ご注文が 10 月 1 日以降にアフターサービス部に到着した場合は、「送料」が変更となりますのでご注意ください。

→【B】パーツのご注文：「**税別表示**」の説明書の場合

【A】パーツのご注文：「**税込表示**」の説明書の場合

2019 年 10 月 1 日以降にアフターサービス部へ到着するご注文は、「価格」と「送料」をそれぞれ以下のように算出してお申し込みください。
※ご注文の手順につきましては、各製品の取扱い注意・説明書を参照ください。

▼「10%の税込価格」の算出方法 … 1~2 の順に算出してください。

1	各パーツや別売品の税別価格を算出する。	5%の税込価格 ÷ 1.05 = 税別価格 (小数点以下切り上げ)
2	税別価格をもとに 10%の税込価格を算出する。	税別価格 × 1.1 = 10%の税込価格 (小数点以下切り捨て)

▼送料について

説明書の送料が「旧送料」です。それぞれ「新送料」へと変更になります。
「新送料」につきましては、パーツに関するお問い合わせ窓口までお問い合わせください。

【B】パーツのご注文：「**税別表示**」の説明書の場合

2019 年 10 月 1 日以降にアフターサービス部へ到着するご注文は、「10%の税込価格」でお申し込みください。
また、「旧送料」が記載されている説明書につきましては、「新送料」でお申し込みください。

▼「10%の税込価格」の算出方法 … 説明書の価格が税別価格になっています。

1	税別価格 × 1.1 = 10%の税込価格 (小数点以下切り上げ)
---	--

▼送料について

説明書の送料が「旧送料」です。それぞれ「新送料」へと変更になります。
「新送料」につきましては、パーツに関するお問い合わせ窓口までお問い合わせください。

OPERATOR'S MANUAL

取扱注意・説明書

TOKYO  MARUI

AKM

Avtomat Kalashnikova Modernizirovannyi

REAL GAS BLOW BACK

■ご使用の前に最後まで必ずお読みください■



Warning!

This Product has been manufactured and sold pursuant to the laws and relevant regulations of Japan and based upon the societal attitude towards toy guns, etc. in Japan. No warranty is provided that this Product complies with the laws and regulations of any other countries. This English explanatory note concerning this Product is intended only for the information of a foreign user who uses this Product in Japan.



対象年齢18才以上
Only for 18 years of age or older

日本製
MADE IN JAPAN



Hi-Quality For the Customers

この〈取扱い注意・説明書〉では、製品を正しく安全にご使用いただくため、特に注意が必要な点には次の絵表示を用いています。表示内容をよく理解してから、本文を順にお読みください。
※操作方法は製品によって異なります。必ず、それぞれの製品に付属している〈取扱い注意・説明書〉の手順通りにご使用ください。

⚠ 警告 取扱いを誤ると、大きなケガや事故につながる内容です。

⚠ 注意 取扱いを誤ると、ケガや事故につながる内容です。

🚫 禁止の行動です。

! 必ず行う内容です。

⚠ 警告



必ず目の保護具を装着する

発射する本人と、BB弾が届くエリア内の全員が装着してください。目の保護具(ゴーグルなど)は、エアソフトガン用をご使用ください。



人、動物、壊れやすい物を狙わない

BB弾を発射したことで、人や動物にケガを負わせたり、共有物や他人の財産を破損させると、傷害や器物破損の罪になる場合があります。



本体は常に安全な状態にしておく

万一の暴発を防ぐため、発射する時以外は必ず発射口に保護キャップを装着し、セフティ(安全装置)をかけ、マガジンを本体から外してください。



人や車が通る場所では発射しない

BB弾がはね返ることも考え、常にまわりの安全に気を配ってください。また、禁止されている場所では、絶対に発射しないでください。



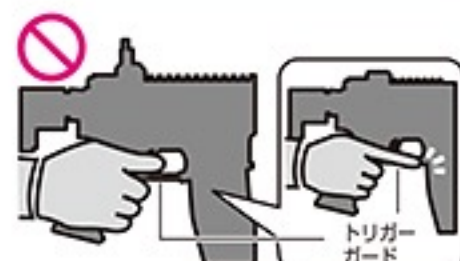
常に発射口の向きに注意する

いつも「BB弾が本体に入っている」つもりで取扱ってください。マガジンが空になっても、本体内部にBB弾が残っている場合があります。



絶対に発射口をのぞかない

発射されたBB弾が目に入った場合、最悪失明の恐れがあり大変危険です。どんな理由があっても、絶対に発射口をのぞいてはいけません。



発射の時以外はトリガーに触らない

トリガーに指が触れていると、何かのはずみでトリガーを引いてしまう恐れがあり、大変危険です。指は常にトリガーガードの外に出しておきましょう。



可動部に手や顔を近づけない

製品の形状や構造によっては、指などをはさみやすい部分や、勢いよく作動する部分があり、ケガをする恐れがあります。



無理な姿勢で発射しない

本体を傾けたり下を向けて発射すると、BB弾が曲がって飛んだり、作動用のガスを噴き出してしまいます。本体はまっすぐ立てて発射してください。



40℃以上になる所に絶対置かない

高温になる所(車の中など)に本体やマガジンを置くと、破裂する恐れがあり大変危険です。また、そのような場所での使用はお止めください。



責任を持って管理・保管する

対象年齢に満たない子供や、取扱い方法を知らない人には、絶対にさわらせないでください。また、P17をよく読んで、適切に保管してください。



むやみな分解、改造を絶対にしない

性能ダウンや故障だけでなく、暴発や誤作動にもつながる恐れがあり、大変危険です。また、当社で修理をお受けできなくなります。

⚠警告：ガスの取扱いについて



指定のガス以外は使用しない
指定のガス以外（ガスコンロ用やガスライター用、ヘアスプレーなど）を使用すると、火災などの恐れがあり大変危険です。また、ガスボンベの注意も読んでから使用してください。（使用するガスについては、P5をお読みください。）



ガスにさわらない・吸入しない
ボンベ内のガスは非常に低温なため、皮膚に付いたり吸入すると大変危険です。ノズルを押すとガスが噴き出しますので、ノズルには絶対にさわらない、また顔などを近づけないでください。



40℃以上になる所に置かない
ガスボンベは、直射日光の当たる車の中や、高温になるストーブの側など、40℃以上になる所に置いたり保管しないでください。破裂する恐れがあり大変危険です。



子供の手の届かない所に保管
対象年齢未満の子供がイタズラをしないよう、安全な場所に保管してください。

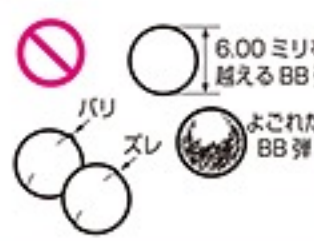


火の中に投げ込まない
ガスボンベを火の中に投げ込まないでください。また、火気の近くで使用しないでください。破裂する恐れがあり大変危険です。



中身を使いきってから捨てる
ガスボンベを捨てる前に、ノズルを約45度の角度でコンクリートの地面に押し付け、完全にガスを抜ききってください。（各地域の処分方法に従って捨ててください。）また、噴き出すガスが手などに当たらないよう注意してください。

⚠注意



指定外のBB弾を使用しない
必ず当社指定のBB弾を使用してください。他社製や直径が6mmを超えるもの、バリやズレのあるもの、一度使うなどして汚れたものは、作動不良や故障の原因になります。（使用するBB弾については、P5をお読みください。）



無理に操作しない
BB弾が詰まった時、セフティをかけてスライドやトリガーがロックされている時など、無理に作動させないでください。故障や破損の原因になります。



落下させない・ぶつけない
本体やマガジンは、大変精密に作られています。落下などのショックは、故障や破損の原因になります。また重量があるため、足などに落とすとケガをする恐れがあります。



ゴミやホコリに注意
本体やマガジンの内部に、ゴミやホコリが入らないようにしてください。また、BB弾以外の異物を入れないでください。作動不良や故障の原因になります。



部品を無くさない
メンテナンスのために分解する時など、部品がそろっているか必ず確認してください。部品が足りないまま組んで作動させると、作動不良や故障の原因になります。



ケースなどに入れて持ち運ぶ
エアソフトガンは、屋内外にかかわらず、BB弾を発射できない安全な状態にした上で、必ずケースやバッグに入れて運んでください。

〈取扱い注意・説明書〉は、必ず製品と一緒に、大切に保管してください

紛失された場合は、すぐに当社アフターサービス部までお求めください。
・①製品名②取扱い注意・説明書請求の旨③郵便番号④ご住所⑤お名前⑥年齢⑦電話番号、を明記したメモを必ず添えてください。
・代金¥110+送料¥140分の切手を、①～⑦のメモと共に当社アフターサービス部までお送りください。
※メモははっきりとお書きください。※価格は税込み価格です。

誤った使用方法や取扱い、改造・分解によって発生した事件、事故、ケガ、故障につきましては、当社では一切の責任を負いません。

取扱い注意・警告	02
もくじ	04

取扱い説明

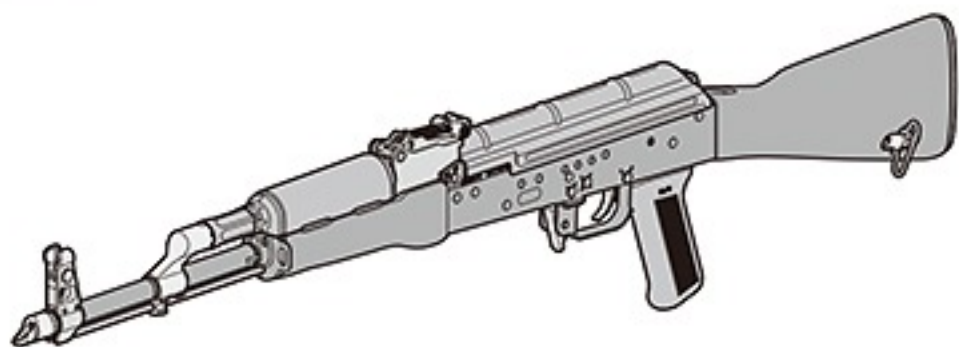
セット内容	05
1 各部の名称	06
2 セフティ(安全装置)について	07
3 オープンサイトの調整方法	08
4 可動部の説明	09
5 マガジンの準備	10
5-1 BB弾を込める	
5-2 ガスを注入する	
6 発射の準備	12
6-1 マガジンをセットする	
6-2 本体に初弾(1発目)を送り込む	
7 正しいサイトピクチャーと射撃姿勢	14
8 発射	15
8-1 BB弾を発射する	
8-2 発射のメカニズム	
8-3 発射を終了して保管する	
8-4 可変ホップアップシステムの調整	
8-5 オートストップシステム ON・OFFの切り換え	
9 各種メンテナンス	20
9-1 通常分解	
9-2 組み立ての時のポイント	
9-3 チャンバー内のクリーニング	
9-4 弾づまりの直し方	
9-5 作動部への注油	
10 マズルブレーキの脱着	24
11 トラブルクリニック【故障かな?と思ったら】	25
パーツリスト	26
AKMの修理について	30
各種パーツ & 別売アクセサリのご注文	31



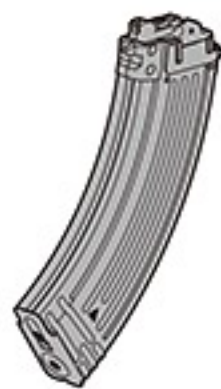
この度は東京マルイ製品を
ご購入頂きまして誠にありがとうございます。
この製品は、BB弾を発射する「エアソフトガン」の中
でも、ガスの力を利用して“発射”と“ボルトの後退”
および“次弾の装填”を行う、オートマチックタイプの
「ガスブローバック」モデルです。製品の性能や特徴を
よく理解し、正しい操作方法を身につけ、ルールやマナー
を守ったスポーツシューティングをお楽しみください。

セット内容

本体



マガジン (装弾数35発)

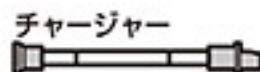
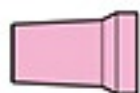


付属品 (①～③は本体右下側の箱状台紙の中に収納されています。)



①0.2g BB
(100発入り)

②保護キャップ



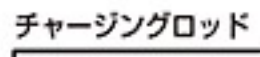
チャージャー

③フロントサイト・
アジャストツール



取扱説明書
(本書)

クリーニングロッド



チャージングロッド

(ロッド類は本体下の発泡下部に収納されています。)

セット以外に必要なもの [別売：販売店でお買い求めください]

作動用ガス

東京マルイ純正ガス

●マルイ“ガンパワー”ガス (ガスガンシリーズ専用)

※作動用のガスは、
販売店でお買い
求めください。

250g



400g



BB弾

東京マルイ製 0.2～0.25gBB

●0.2～0.25gBB

3,200 発入



1,600 発入



1,300 発入



※0.2g バイオ / 0.25g バイオには得用 1kg バックもあります。

ゴーグル

エアソフトガン用

- プロゴーグル S
- プロゴーグル L
- プロゴーグル
フルフェイスバージョン

※別売製品の店頭価格につきましては、お近くの
販売店にお問い合わせください。



注意 ⑭オイラートラップドアは実銃同様に可動しますが、内部に物を入れないでください。取出せなくなる場合があります。

No.	名 称	No.	名 称
①	マズルブレーキ	①⑦	レシーバーカバーロック
②	フロントサイト	①⑧	セクターレバー
③	アウターバレル	①⑨	ガスチューブブロックレバー
④	ガスブロック	②①	グリップ
⑤	アッパーハンドガード	②②	トリガーガード
⑥	リアサイト	②③	マガジン
⑦	レシーバーカバー	②④	ボルト (エジェクションポート)
⑧	ダミークリーニングロッド	②⑤	ボルトハンドル
⑨	フロントスリングフック	②⑥	注入バルブ
⑩	ロアハンドガード	②⑦	マガジンリップ
⑪	マガジンキャッチ	②⑧	マガジンガスカート
⑫	トリガー	②⑨	放出バルブ
⑬	リアスリングフック		
⑭	オイラートラップドア		
⑮	バットプレート		
⑯	ストック		



重要

セフティ(安全装置)について



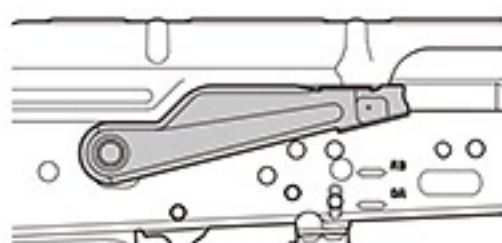
セレクターレバーは、正確な位置で止めないと誤作動する場合があります。

トリガーを引いたままセレクターレバーを操作しないでください。
トリガーが戻らなくなる場合があります。

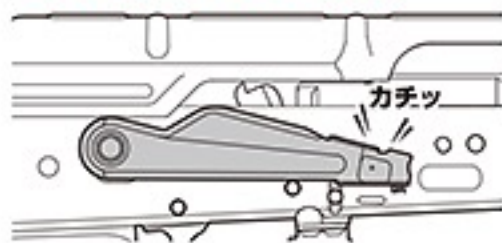
■セフティ(安全装置) トリガーとボルトは引けません。
撃たない時は、必ずセフティにする事。

銃を保管する時はハンマーダウンし、
保護キャップも忘れずに装着してください。
【参照：8-3 (P17)】

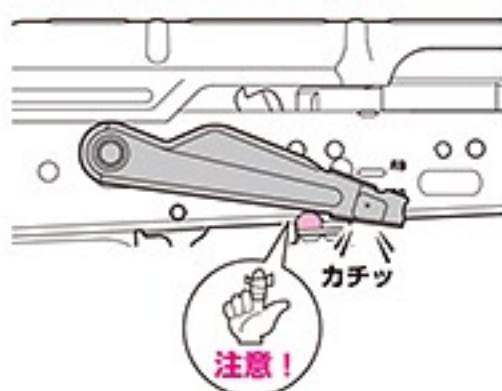
セフティON



■フルオート(連発)
トリガーを引いている間、連続して弾が出ます。

セフティOFF
セレクターレバー位置 <AB>

■セミオート(単発)
トリガーを引くと1発だけ弾が出ます。

セフティOFF
セレクターレバー位置 <OA>

⚠️ 注意 セレクターレバーを操作する際、下の凸部分との間に手を挟まないよう注意してください。

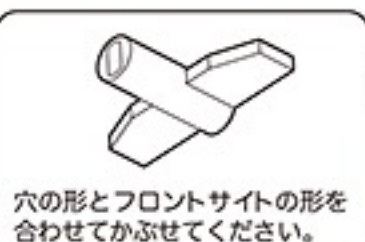


フロントサイトの調整

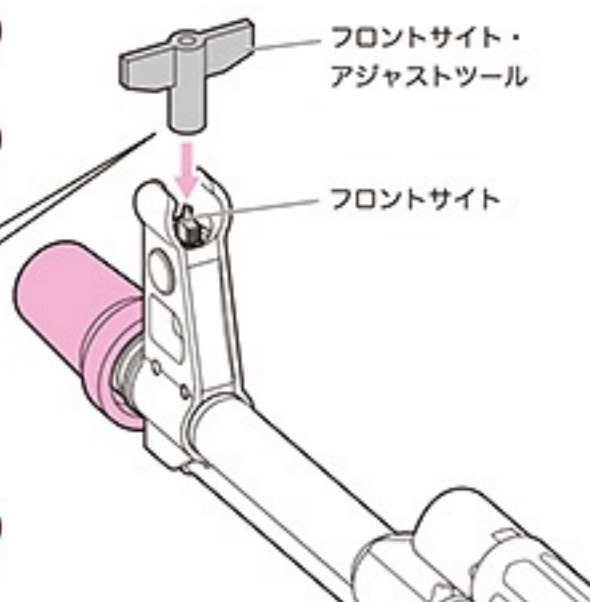
フロントサイト・アジャストツールをフロントサイトにかぶせ、押しながら回します。

フロントサイトを限界以上にきつく締め込まないでください。
無理に回し過ぎると破損の原因となります。

フロントサイトの調整を行う際、左に回しすぎるとフロント
サイトが外れますので注意してください。



フロントサイト・アジャストツールは紛失しないように
注意してください。

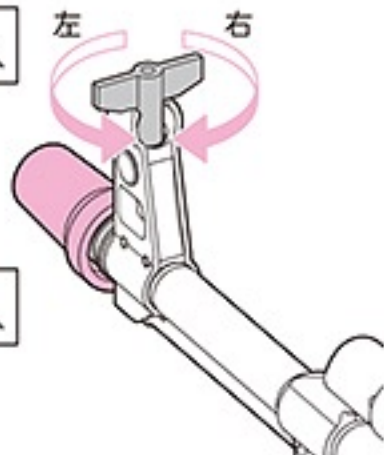


■上下のエレベーション調整

着弾点の上下を調整します。

フロントサイトが
上がると、着弾点が下へ
左に回します。

フロントサイトが
下がると、着弾点が上へ
右に回します。

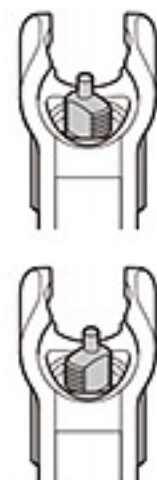


■左右のウィンテージ調整

着弾点の左右を調整します。

フロントサイトを左に
寄せると、着弾点が右へ

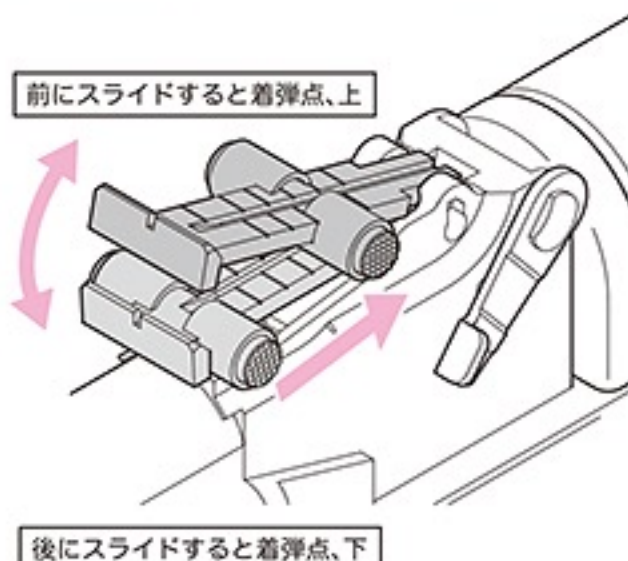
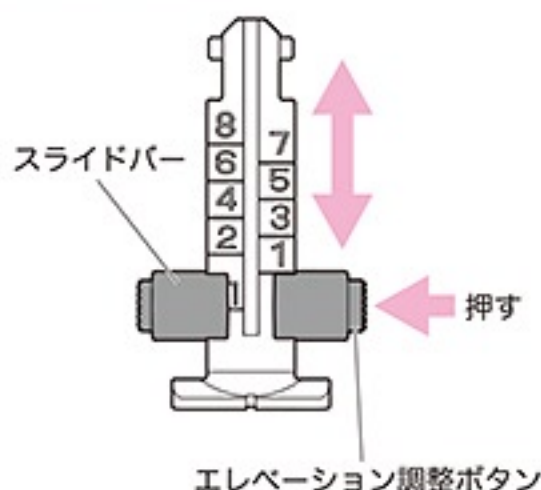
フロントサイトを右に
寄せると、着弾点が左へ



！ワンポイント
アドバイス リアサイトのスライドバーが後端にある状態で、フロントサイトを調整します。
フロントサイトのみで上下調整しきれない場合に、リアサイトで追加調整します。

リアサイトの調整

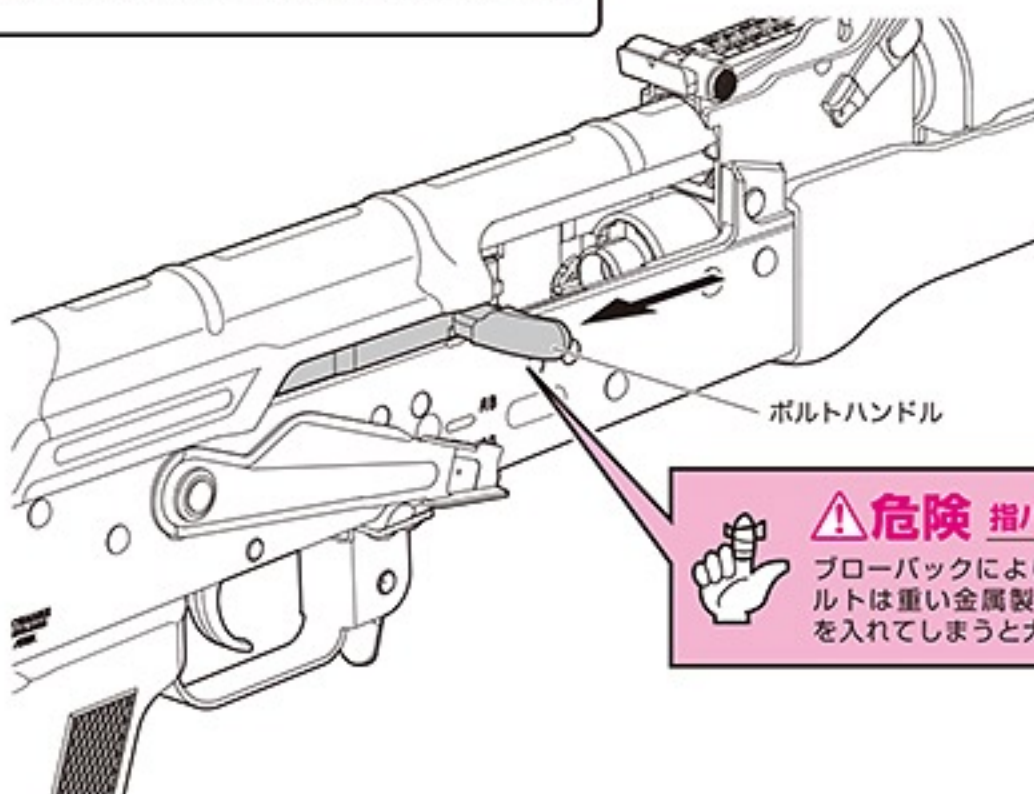
エレベーション調整ボタンを押しながらスライドバーを前後にスライドさせることで、リアサイトを上下に動かし、
着弾点の上下を調整します。





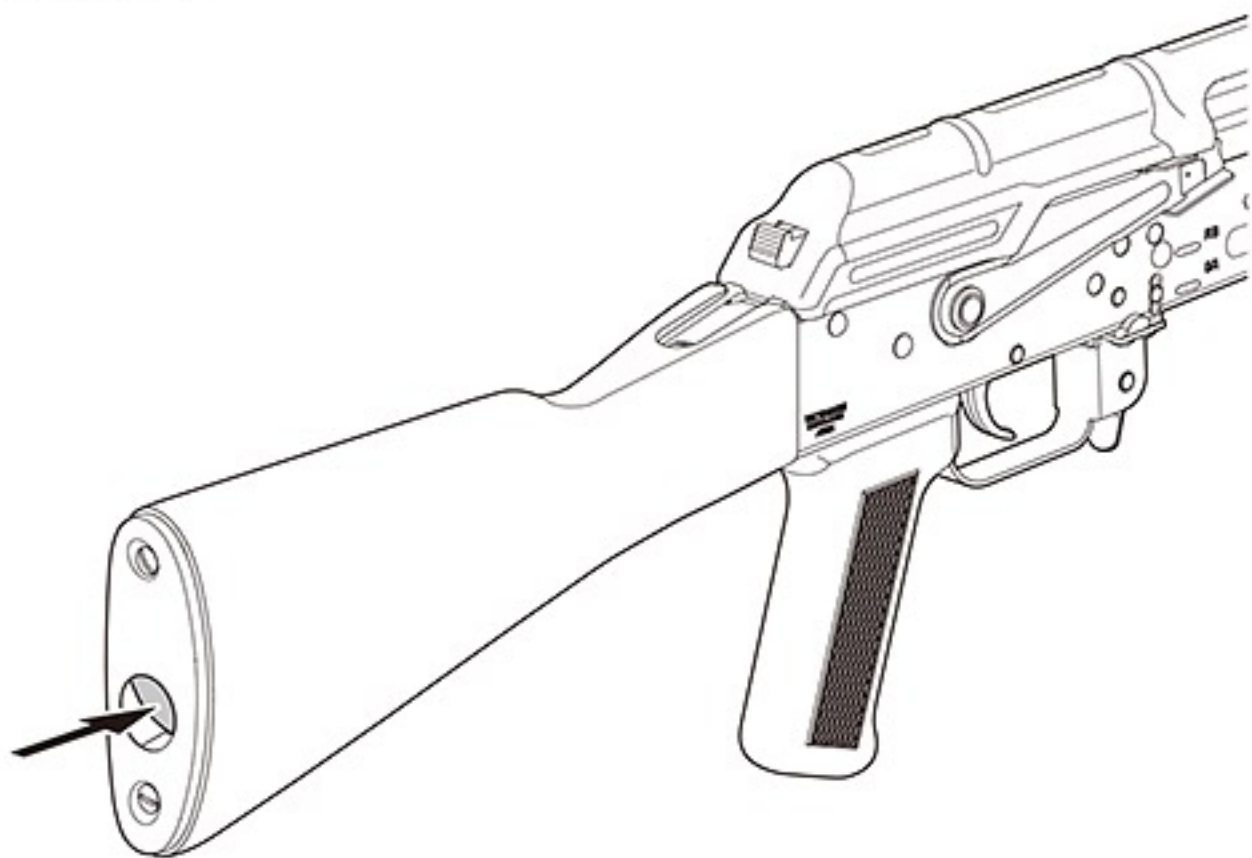
ボルトハンドルを引くとボルトが後退します。

ボルトハンドルを引く前に必ずセレクターレバーをセミオートかフルオート的位置に移動しておいてください。
セフティの位置のままボルトハンドルを無理に引くと破損の原因となります。



オイラートラップドアの開閉

オイラートラップドアを押し込むと、ドアが開きます。(実銃同様に可動しますが、内部に物を入れないでください。取出せなくなる可能性があります。)





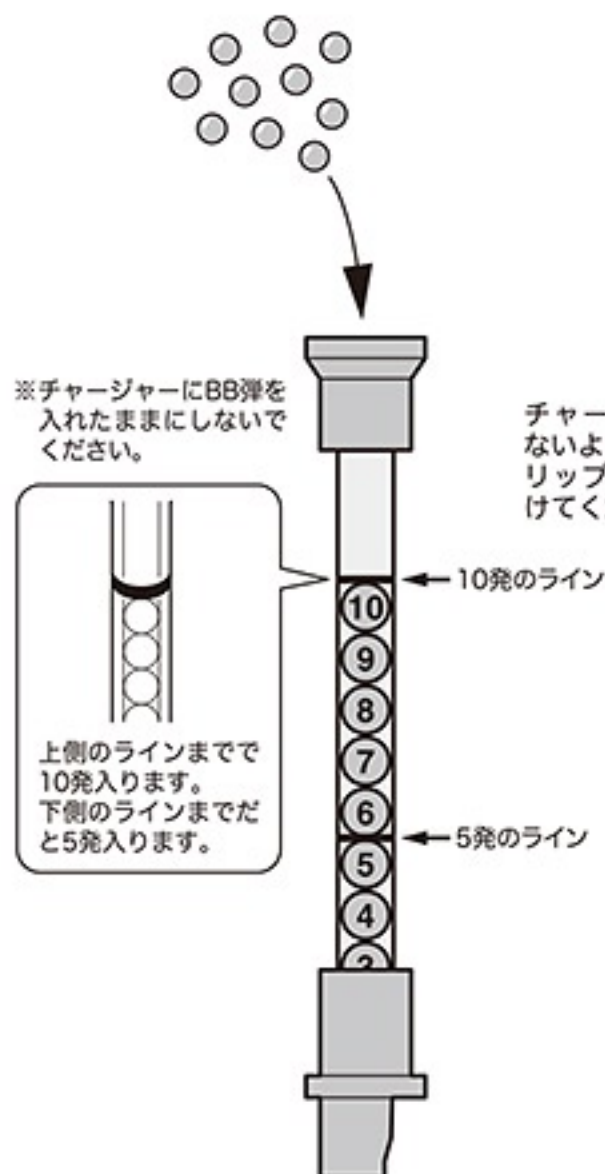
5-1 BB 弾を込める [対応 BB 弾：東京マルイ 0.2~0.25g BB]

このマガジンの最大装弾数は 35 発です。装弾作業は下記の手順で行ってください。(ブローバックの強震動による BB 弾の飛び出しを防ぐためマガジンリップの保持力が強めになっており、それに合わせて BB 弾を押し込みやすいショートタイプのチャージャーが付属してあります。)

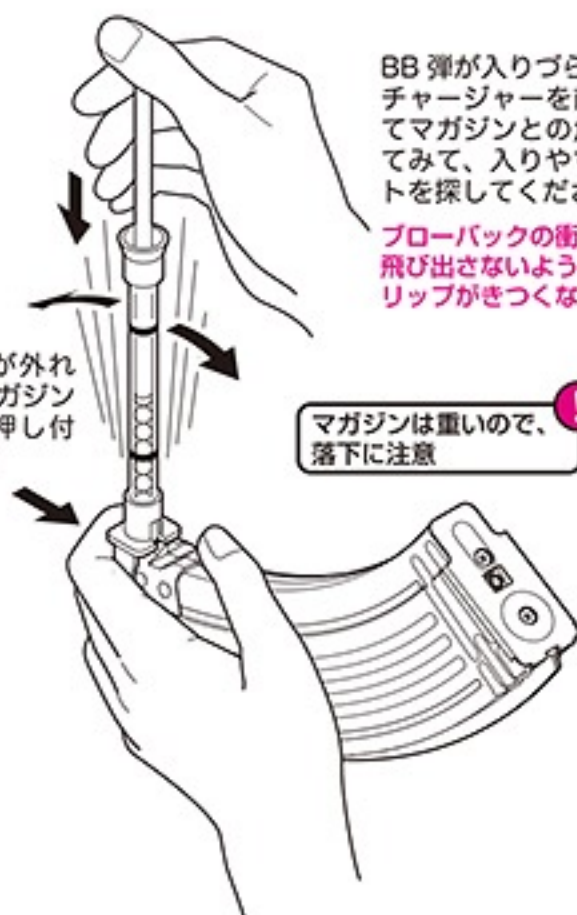
※全長が短いため 5~10 発ずつしか入れられないので、35 発全てを 1 回の作業だけで装弾することはできません。

- ①チャージャーに当社 6mm BB 弾を 10 発だけ入れます。

- ②チャージャーをマガジンにしっかり押さえつけながら、チャージングロッドで BB 弾をマガジンに押し込みます。



チャージャーが外れないように、マガジンリップに強く押し付けてください。



- ③同じ作業を更に 2 回 (合計 3 回) 行います。(この時点で 30 発入っています。)

- ④最後に BB 弾を 5 発だけ入れて、②の作業を行います。合計 35 発 BB 弾に達した時点で作業終了です。

必ず装弾数を確認する

※装弾数 (BB 弾が入る数) は、マガジンの種類ごとに違います。

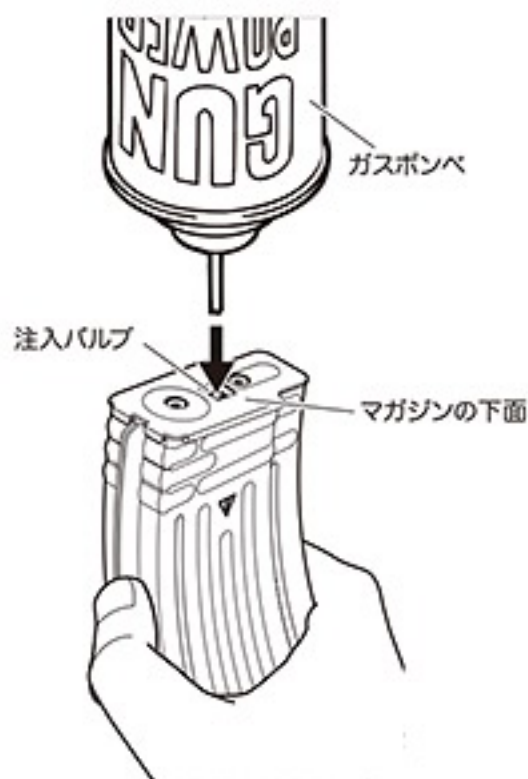
※別売 BB ローダーを使用した場合、1 発多く装弾してしまう場合があります。必ず装弾数を確認して、多い場合は取り除いてください。

※別売 BB ローダーを使用した場合、BB 弾の並びにスキ間ができてカラ撃ちが発生する可能性があります。故障ではありません。

5-2 ガスを注入する [必ず東京マルイ純正ガスをご使用ください。※他社製ガスは故障を誘発する恐れがあります。]

❗必ずマガジンを本体から外した状態で、ガスの注入を行ってください。

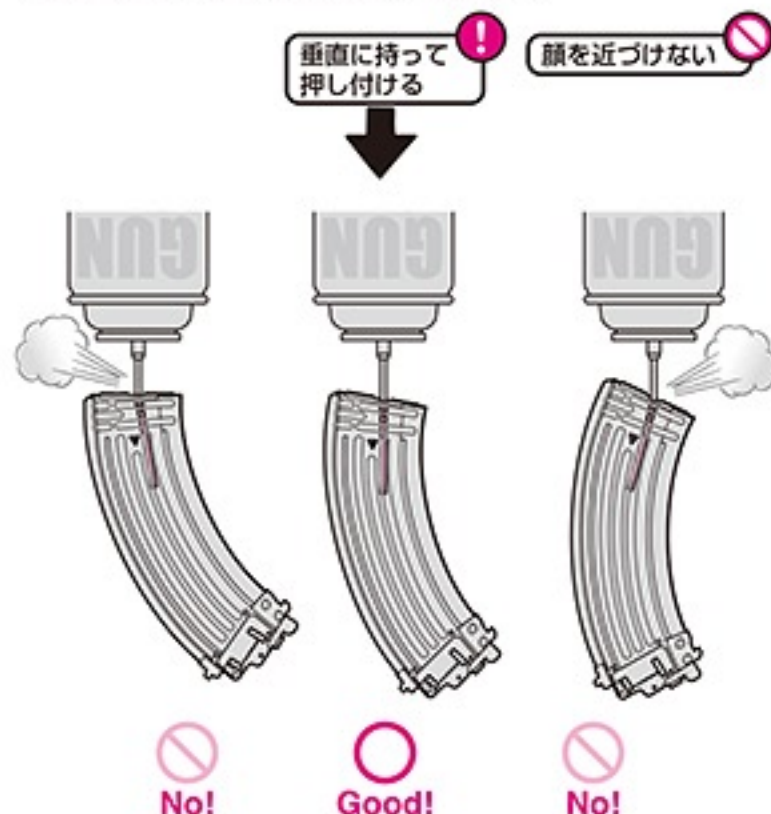
①注入バルブに、ガスポンベのノズルを合わせる。



放出バルブにさわらない

②マガジンとガスポンベを一直線にして垂直に持ち、ガスポンベをマガジンに押し付ける。

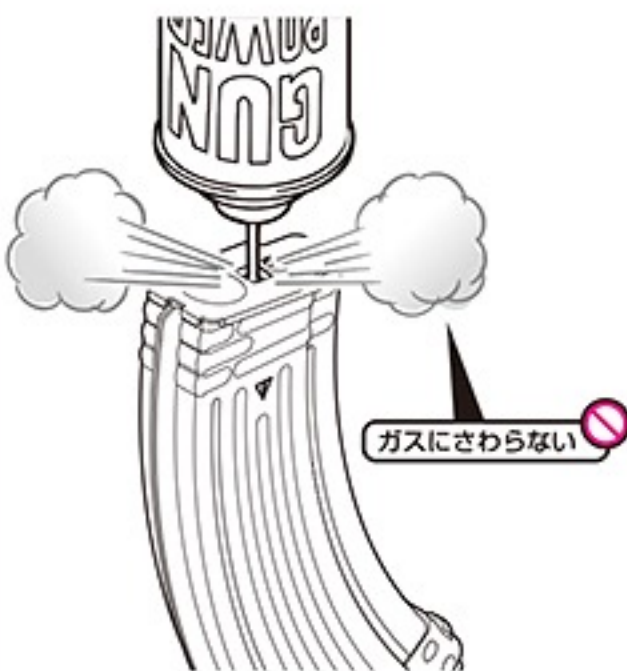
※押し付けている間、ガスが注入され続けます。



※注入を始めた途端にバルブからガスが噴き出す場合は、バルブとノズルがズれていたり、マガジンとガスポンベが一直線になっていません。

※傾けたり、振りながらガスを注入すると、規定量以上のガスが入ってしまい、ブローバックしなくなってしまいます。

③しばらくしてガスが噴き出したら、すぐに注入を止める。(満タンです。)



※皮膚にガスがかからないように、注意してください。

※マガジンをにぎる手に、タオルなどを巻くのも効果的です。

④ガスを入れたマガジンが冷たい時は、手でマガジンを温める。

冷たくないと感じるくらい
(20~30℃くらい) で快調
に作動します。

※マガジンが冷えていると、
うまく作動しません。



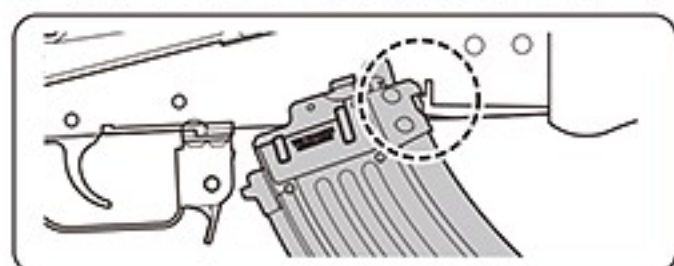
警告 高温(40℃以上)では使用しない事!!

高温時はガスが高圧力になります。その状態で銃を作動させると各部に強大な負担がかかり、あっという間に破損してしまう可能性があります。温度管理は特に注意して適切に行ってください。



6-1 マガジンをセットする

必ず下からマガジンをセットします。
始めに下図の様にマガジンの上部前側のツメを確実に
引っ掛けてからマガジン後部を押し込んでください。



注意 正しくセットされていないとマガジンが落下
する危険性がありますので、下に引っ張って正
しくセットされているか確認してください。

※マガジンはあらかじめ準備しておきます。
【参照：5-1～5-2(P10～P11)】

マガジンを外す時は

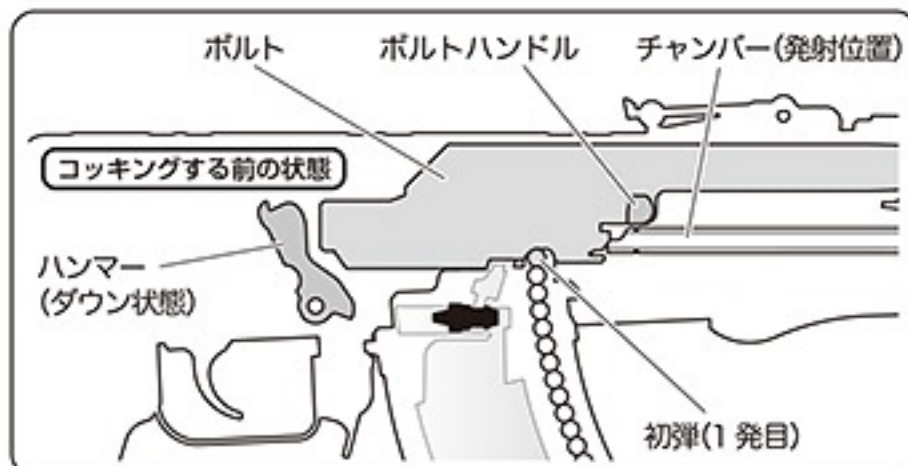
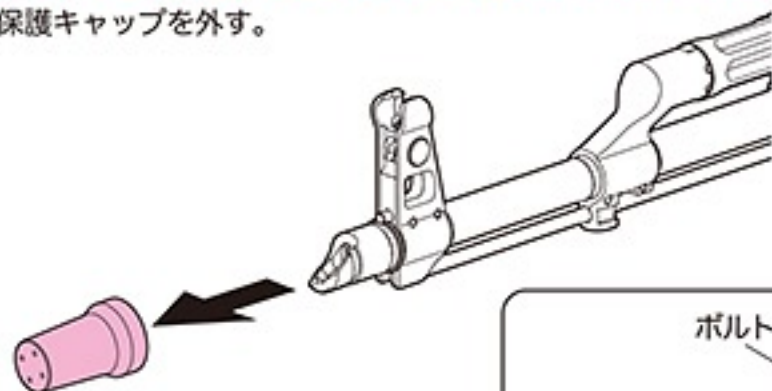
マガジンキャッチを押し、マガジンを抜きます。(マガジン
が落ちる場合がありますので、手で押さえてください。)



6-2 本体に初弾(1発目)を送り込む [マガジンのBB弾を発射位置に送り込みます]

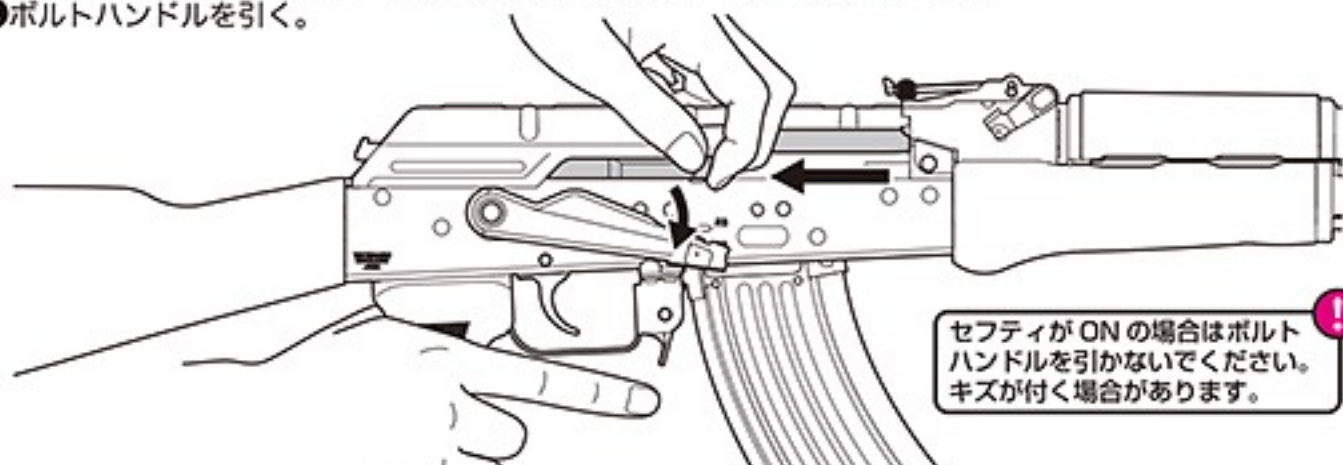
セレクターレバーをセミオート(単発)もしくはフルオート(連発)位置にしてボルトハンドルを後方の止まる所
まで引き、**パツ**と放してボルトを自動的に前進させます。
(手動でゆっくりと前進させると、途中で引っかかって止まる事があります。※作動不良の原因です。)

①保護キャップを外す。

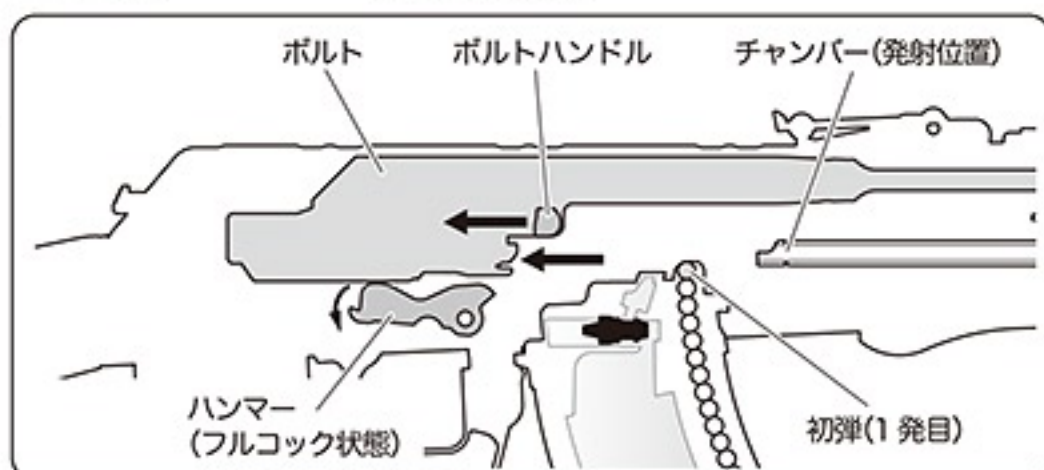


②セクターレバーをセミオート(単発)もしくはフルオート(連発)位置にする。

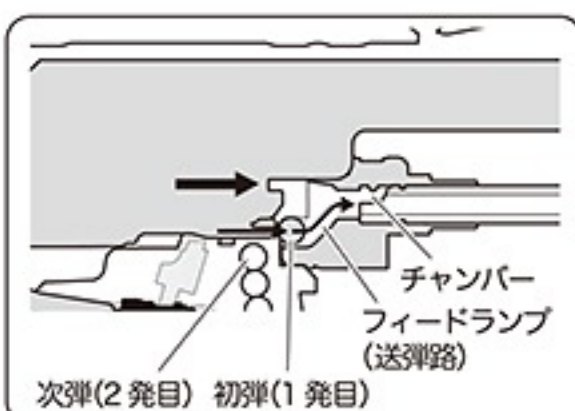
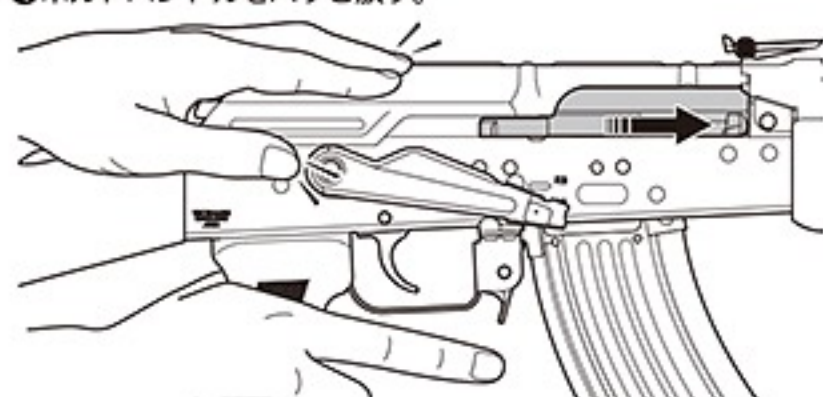
③ボルトハンドルを引く。



※ボルトハンドルを引くと連動してボルトが後退し、また、それにより内部のハンマーもフルコック状態に回転させられます。



④ボルトハンドルをパッと放す。



※ボルトが勢い良く前進しないと正しく送弾されません。

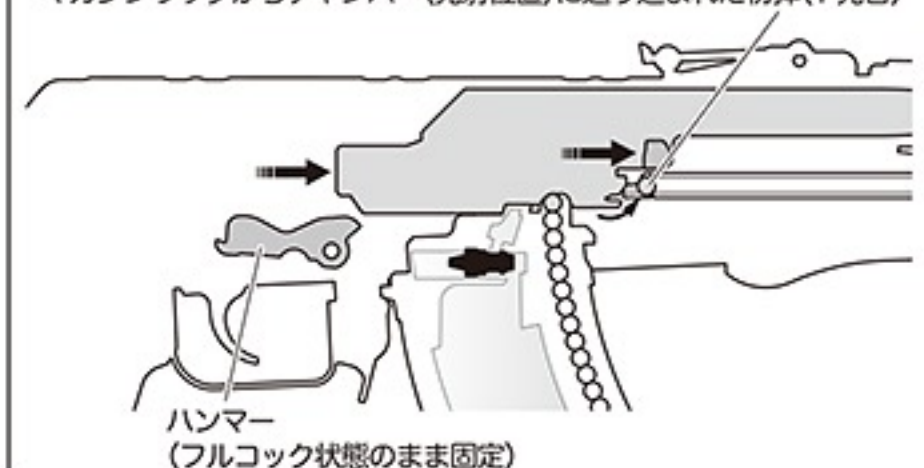
❗ この操作は1回のみに留めてください。繰り返すと故障の原因となります。

※ボルトハンドルを戻した後は、セクターレバーをセフティの位置にしておきます。

セフティ



マガジンリップからチャンバー(発射位置)に送り込まれた初弾(1発目)



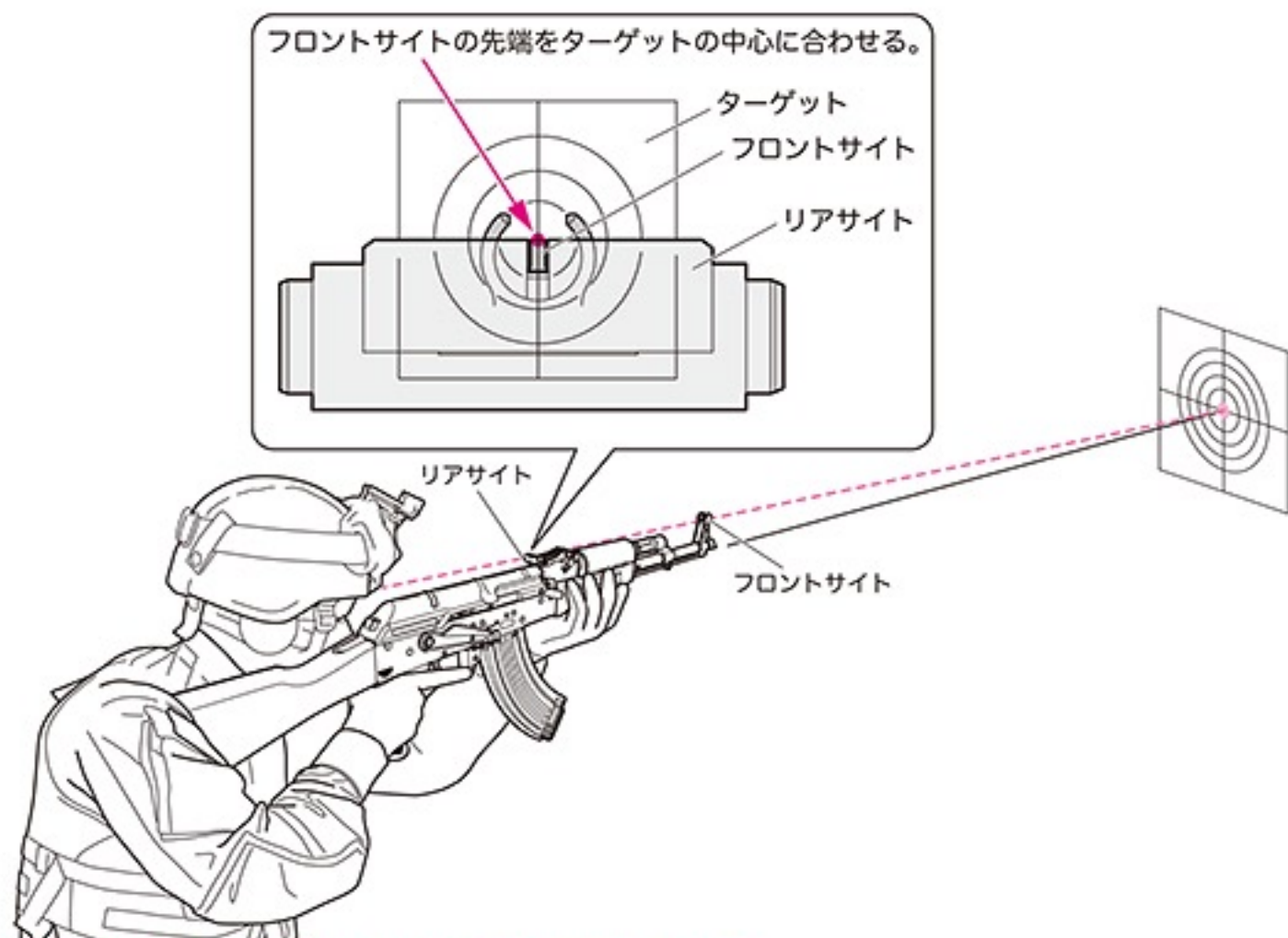
⚠️ 注意 ボルトが正しく前進しなかった時の操作について

④の時、ボルトハンドルをパッと放さずゆっくり戻すとボルトが前進せず、途中で止まってしまうことがあります。そうするとトリガーを引いても発射できないなどの作動不良が発生します。その場合、**必ず必ずマガジンを抜き、銃口側を下に向けた状態で③～④の再操作を行い、ボルトが完全に前進したらマガジンを再度セットしてください。**マガジンを抜かずにこれを行うと、BB弾が複数発送られてしまったり、銃本体にBB弾が詰まってしまうたりして故障の原因となります。また、発射の際に大変危険です。



照準の合わせ方

リアサイトの凹にフロントサイトを図のように重ねて、ターゲットの中心を狙います。
複数発BB弾を発射して平均を取り、着弾点がターゲットの中心からズれている場合は、P8を参照してオープンサイトで調整してください。（ターゲットまでの距離が近いと狙点よりも下に着弾します。予めご了承ください。）



- ❗ 試射を行う際は、ターゲット後方や周囲の安全を必ず確認してください。
マルイ製プロターゲット(別売)等、BB弾の飛び散り、跳弾を防ぐターゲットを用意して十分距離を取りBB弾が当たって破損する可能性がある物は周囲から取り除いてください。
また、射手はもちろん周囲にいる人も必ずゴーグルを着用してください。屋内・屋外を問わず、事故、ケガ・物損などが生じないよう、安全面に最大の配慮を講じてください。

正しい銃の構え方

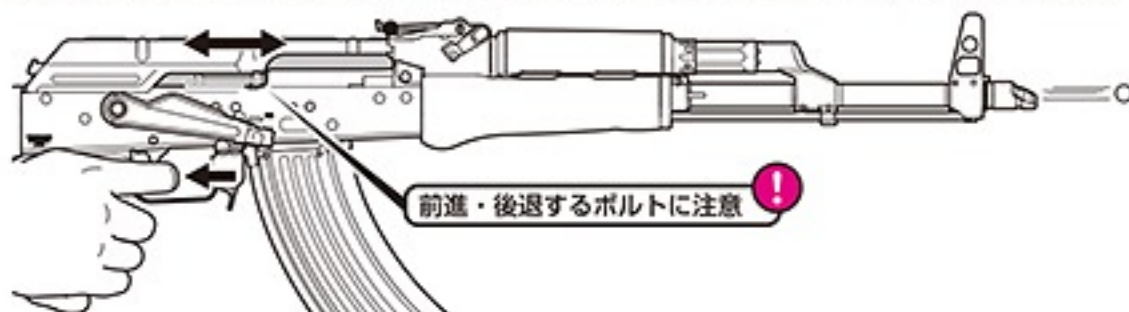
バットプレートを肩の関節のやや内側にあて、ストックに頬を乗せ、上図のように照準を合わせてターゲットの中心を狙います。





8-1 BB 弾を発射する [発射と同時にボルトが作動します]

- ①セクターをセミオート(単発)またはフルオート(連発)位置にして、グリップをしっかりと握り、トリガーに人さし指をかけて手前に引く。(BB 弾を発射して、ボルトが勢いよく後退 = ブローバックします。)



パワーの低下について...

「ブローバック作動がおそい」「BB 弾があまり飛ばない」場合はマガジンのガスが少なくなっているか、マガジンが冷えています。ガスの注入や、マガジンを 20~30℃ くらいまで温めれば、正常に作動するようになります。【参照：5-2(P11)】

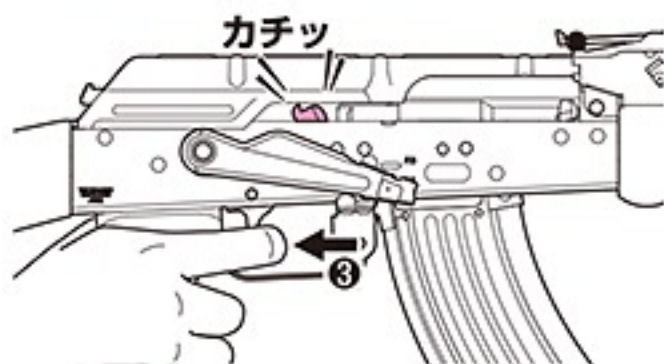
BB 弾を全て発射し終わると ...

- ②オートストップシステムにより、BB 弾の発射とボルトの動きがストップする。
③本体右側面のスリット部からハンマーダウンされているか確認し、されてなければ安全な方向に向けトリガーを引いてハンマーダウンさせる。

●ハンマーダウンされている



●ハンマーダウンされていない



発射を続ける場合

「8-2. 発射のメカニズム A~(P16)」へ進んでください。

発射を終了する場合

「8-3. 発射を終了して保管する(P17)」へ進んでください。

⚠注意

オートストップシステムは、マガジン内とチャンバー内の全てのBB弾を、正しい手順に沿って弾切れするまで発射した場合に正しく作動するように設計されています。その反面、誤った手順で操作した場合には、チャンバー内にBB弾が有るのにブローバック作動しない/チャンバー内にBB弾が無いのにブローバック作動する等、作動が不完全になる場合があります。必ず、上記の手順に従って操作してください。

誤った手順の代表例

- 予めハンマーをコッキングしてある銃本体に、BB弾装填済みのマガジンを装着した後、ボルトハンドルを引かずにいきなりトリガーを引いた場合。⇒初回のハンマーダウンでカラ撃ちブローバック作動し(この時の作動で、初弾をチャンバー内へ自動給弾します)、それ以降は実射します。
●チャンバー内も含めた全てのBB弾の発射は終わったが、まだハンマーダウンは行っていないという時点で、弾切れになったマガジンを一旦外して再装着してしまった場合。⇒1発だけカラ撃ちブローバック作動してからオートストップします。



上記例以外の手順で操作した場合でも、作動が不完全になる場合があります。暴発事故などの危険性がありますので、操作手順を厳守して操作してください。

8-2 発射のメカニズム

本体に初弾が送りこまれた後は、トリガーを引くたびに以下の作動を自動的にくり返します。

①トリガーを引く。

②ハンマーダウンする。

③ノッカーが前進してマガジンの放出バルブを押す。

④マガジンから本体にガスが送られる。



⑤BB弾を1発発射する。

⑥ボルトがブローバックする。

⑦ハンマーがフルコックになる。



この時点でマガジン内にBB弾が

残っている

残っていない

⑧ボルトが前進する。

⑨次弾を発射位置に送る(フルオート時はこの直後に②へ戻る)。

⑩トリガーを引く。



②に戻る。

⑪ノッカーの先端が、放出バルブを押せない位置へ上昇して固定される。

⑫ボルトが前進する。(フルオート時はこの直後に⑭へ)



⑬トリガーを引く。

⑭ハンマーダウンする。

⑮ノッカーが放出バルブを押さずに前進して、作動が自動的に終了(オートストップ)する。



この時点で射撃を

続ける

終了する

【参照：8-3(P17)】

A BB弾が空になったマガジンを外す。
【参照：6-1(P12)】

B 外したマガジンにBB弾を入れ、再びセットする。
【参照：6-1(P12)】

C ボルトハンドルを引いて、初弾を送り込む。
【参照：6-2(P12・13)】

D ①に戻る。



ボルトが十分に前進やブローバックしない場合があります。

- ① マガジンを外してガスを注入する。【参照：5-2(P11)】

⚠️ 注意 マガジンを外さずにガスを注入しないでください。不意に BB 弾が発射される恐れがあります。

- ② 銃口側を必ず下へ向けてからボルトハンドルを引いて、エжекションポートをのぞき、BB 弾の有無を確認する。

⚠️ 注意 残弾に注意



- ③ ボルトハンドルを戻してから銃を水平に戻し、ガスを注入したマガジンをセットする。【参照：6-1(P12)】



- ②で BB 弾が残っていた場合
引き続き発射できます。【参照：8-1(P15)】

⚠️ 警告 本体は発射可能な状態です。

- ②で BB 弾が無かった場合
初弾を送り込む。【参照：6-2(P12,13)】

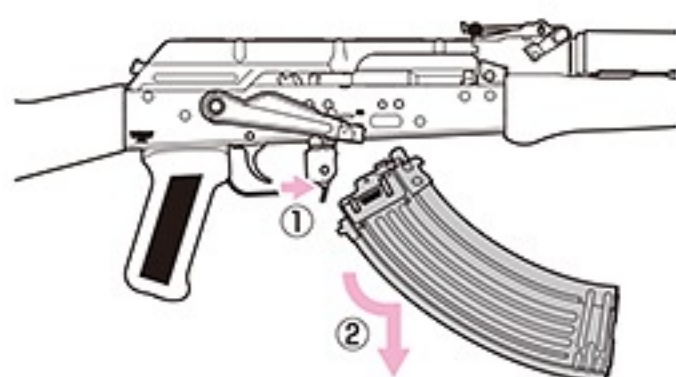
8-3 発射を終了して保管する

- ❗ マガジンの BB 弾を撃ち切って発射終了してください。

- ① マガジンを抜き、オートストップシステムを OFF にする。【参照：8-5(P19)】
② マガジンをセットしてボルトハンドルを引き、作動が止まるまでトリガーを引く。
(マガジンのガスを使い切る)



- ③ マガジンを外す。【参照：6-1(P12)】



※ガスを使い切った後は、マガジンがかなり冷たい事がありますので注意してください。

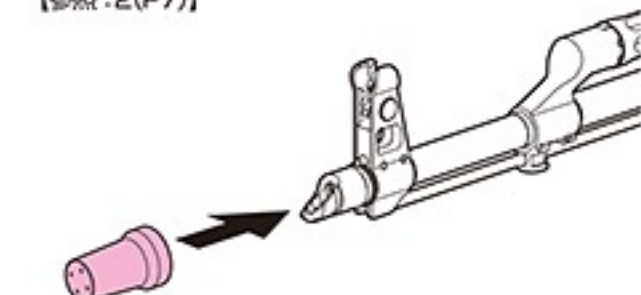
- ④ ハンマーダウンされているか確認し、されていなければ安全な方向に向けトリガーを引きカウ撃ちをする。【参照：8-1(P15)】

- ハンマーダウンされていない ●ハンマーダウンされている



※内部のスプリングがへたる可能性があるため、必ず実行してください。

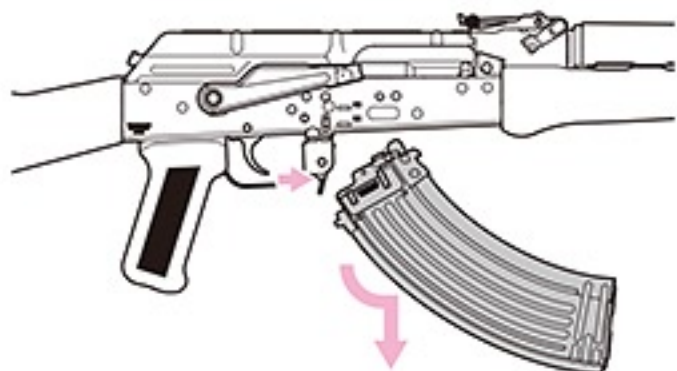
- ⑤ セフティを ON にして、保護キャップを装着する。【参照：2(P7)】



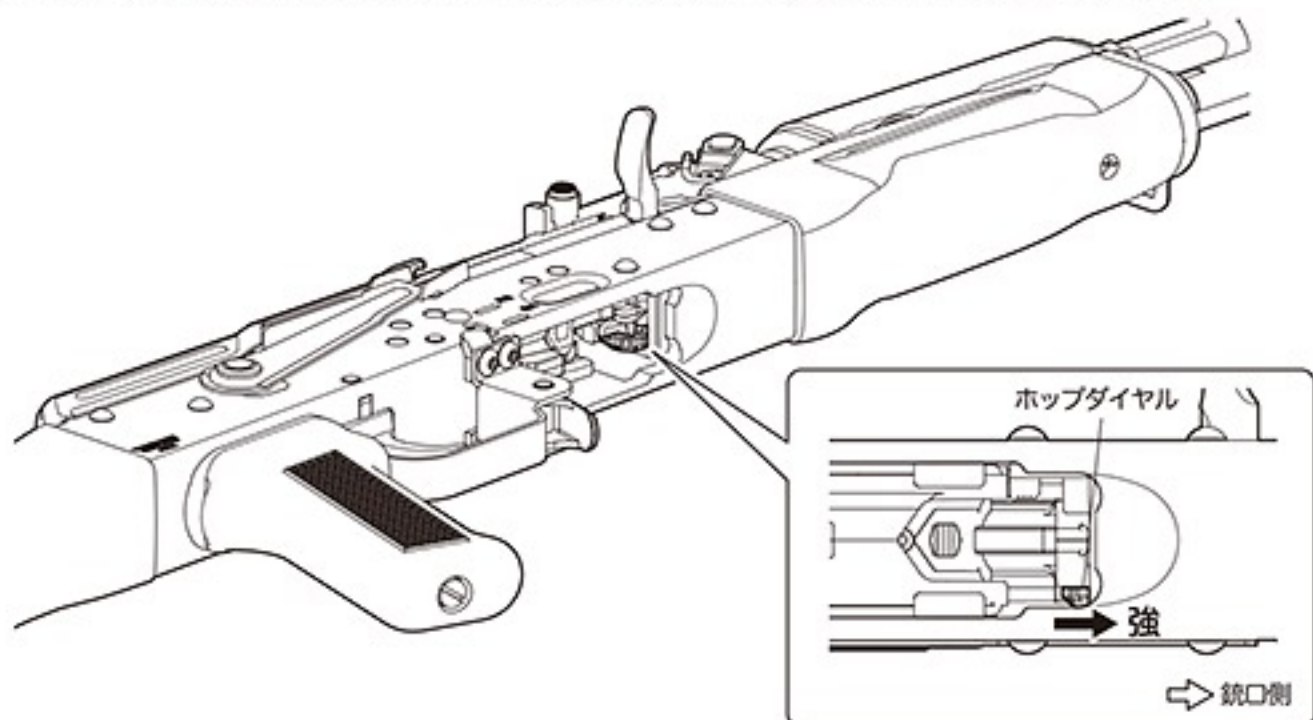
- ⑥ 本体とマガジンをケースやバッグに入れ、安全な場所に保管する。

8-4 可変ホップアップシステムの調整 [弾道を調整します]

① マガジンを外す。【参照：6-1(P12)】



② 本体のマガジン挿入口部分を覗き込み、ホップダイヤルを少しずつ回し、ホップの強弱を調節する。

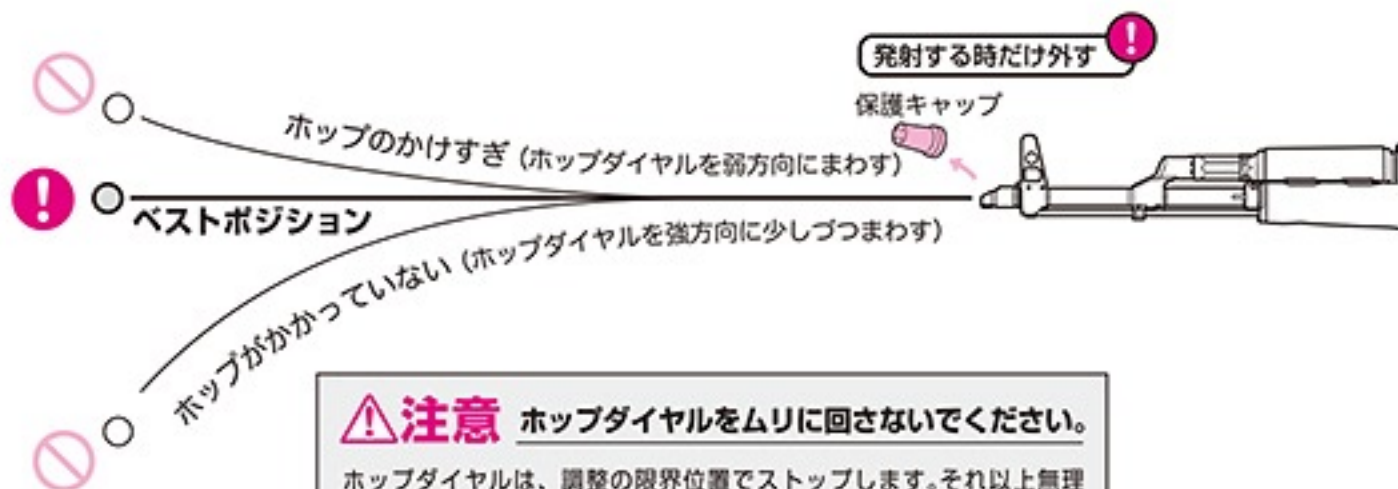


※ ホップダイヤルは最小・最大限度位置で止まるようになっていまして、それ以上は無理に回さないでください。

※ 本体に送り込んだ BB 弾が発射口からこぼれる場合は、ホップのかかりが弱すぎます。多少ホップを強めてください。(BB 弾を保持するパーツが緩くなるため、故障ではありません。)

数発ずつ試射しながら調整します。ホップダイヤルは、BB 弾が直線に飛ぶ位置がベストポジションです。

※ BB 弾が水平に飛ぶようになったら、それ以上ホップダイヤルを回さないでください。

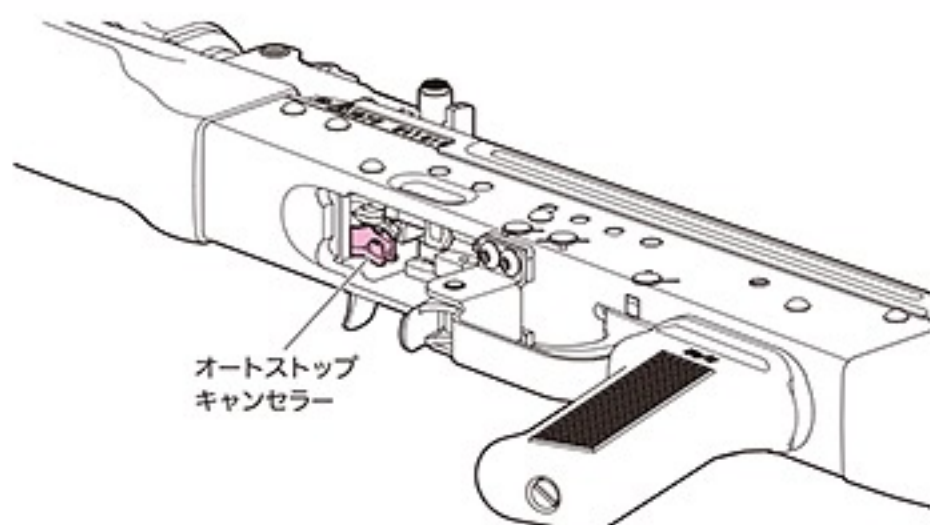


⚠ 注意 ホップダイヤルをムリに回さないでください。

ホップダイヤルは、調整の限界位置でストップします。それ以上無理に回すと、弾づまりや故障の原因となります。

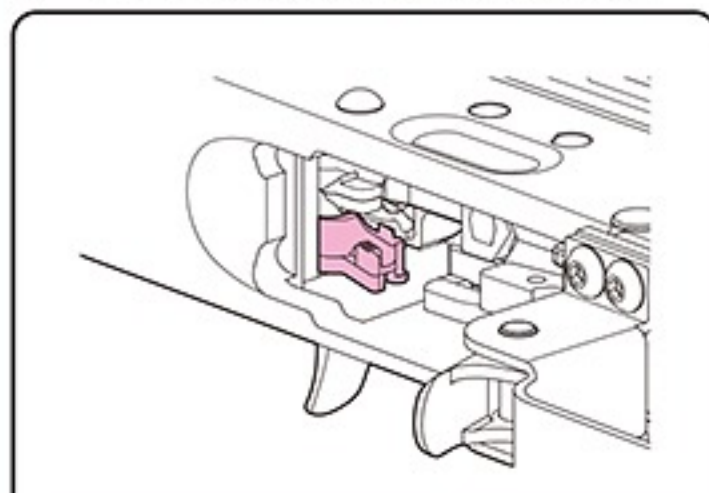
⚠ ホップを強くかけすぎると、逆に発射性能が悪くなったり、弾づまりの原因になります。

8-5 オートストップシステムの ON・OFF の切り換え



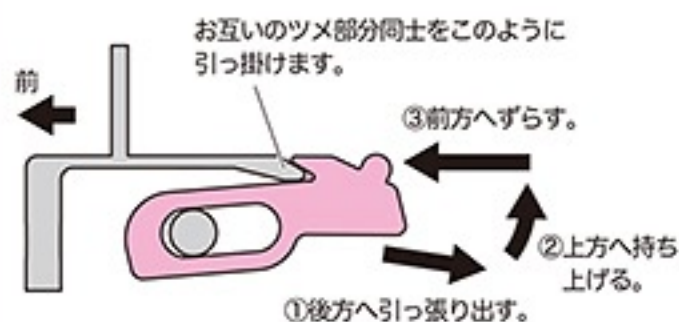
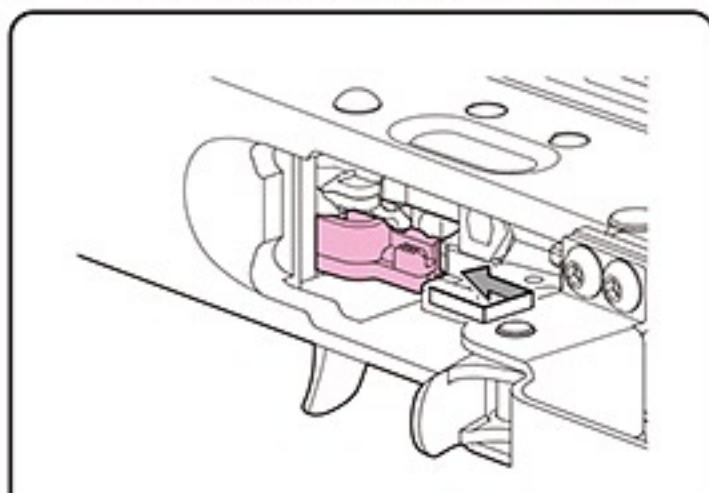
本体マガジン挿入口内にあるオートストップキャンセラー側のツメ部分をチャンバー側のツメ部分に引っ掛けます。オートストップシステムをOFFにすると、マガジンにBB弾を込めずにブローバック作動のみを楽しむこと（カラ撃ち）ができます。

オートストップ ON(カラ撃ちできません)



側面断面図

オートストップ OFF(カラ撃ちできます)



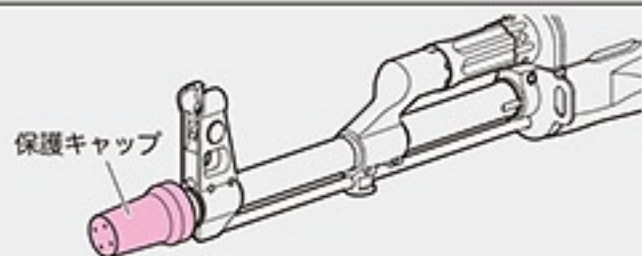
側面断面図

！ワンポイント

オートストップキャンセラーを操作する際は、本体側面に軽く押し付けながら操作するとスムーズに操作できます。

！警告 カラ撃ちについて

カラ撃ちをする際、必ずマガジンからBB弾を取り除き、保護キャップを装着して安全な方向に向けてから行ってください。



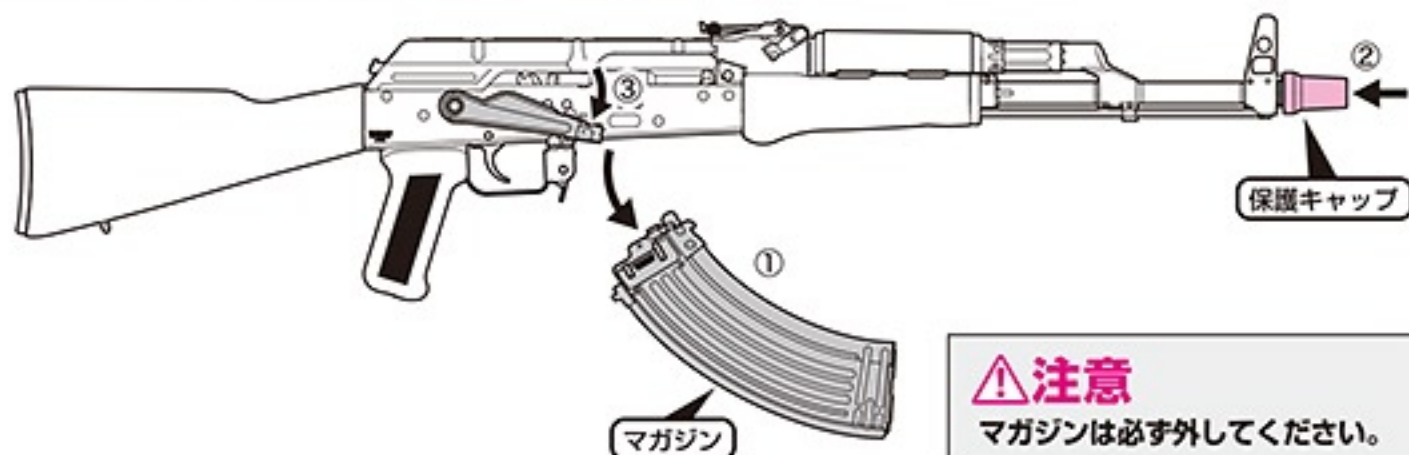
オートストップシステムをOFFにしてもBB弾を込めたマガジンをセットすればBB弾を発射できます。！



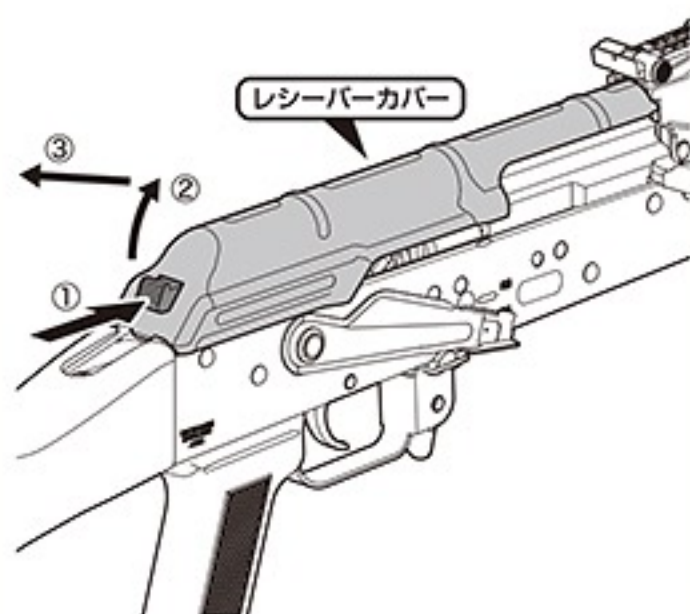
9-1 通常分解

❗ 通常分解は、必要な時にだけ行ってください。「9-5. 作動部への注油(P24)」を行う時に必要です。

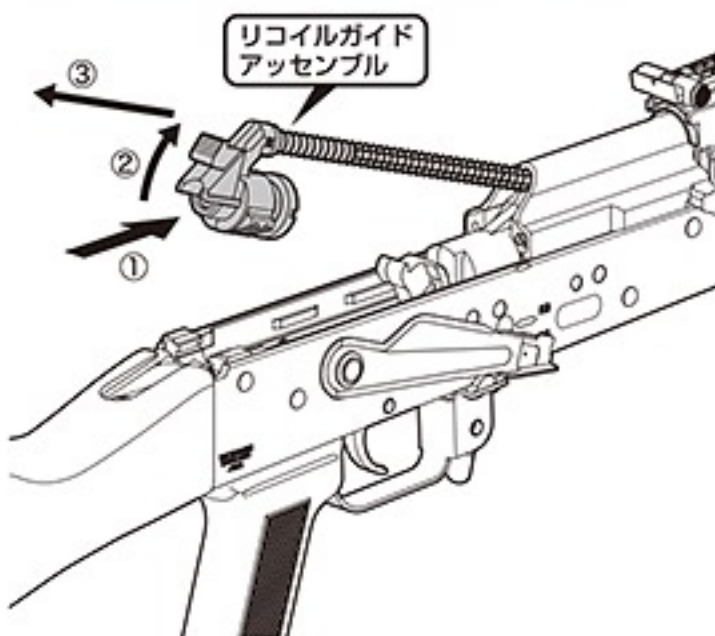
- ①①マガジンを外す。【参照：6-1(P12)】②保護キャップを装着する。③セレクターレバーをセミオート(単発)もしくはフルオート(連発)位置にする。【参照：2(P7)】



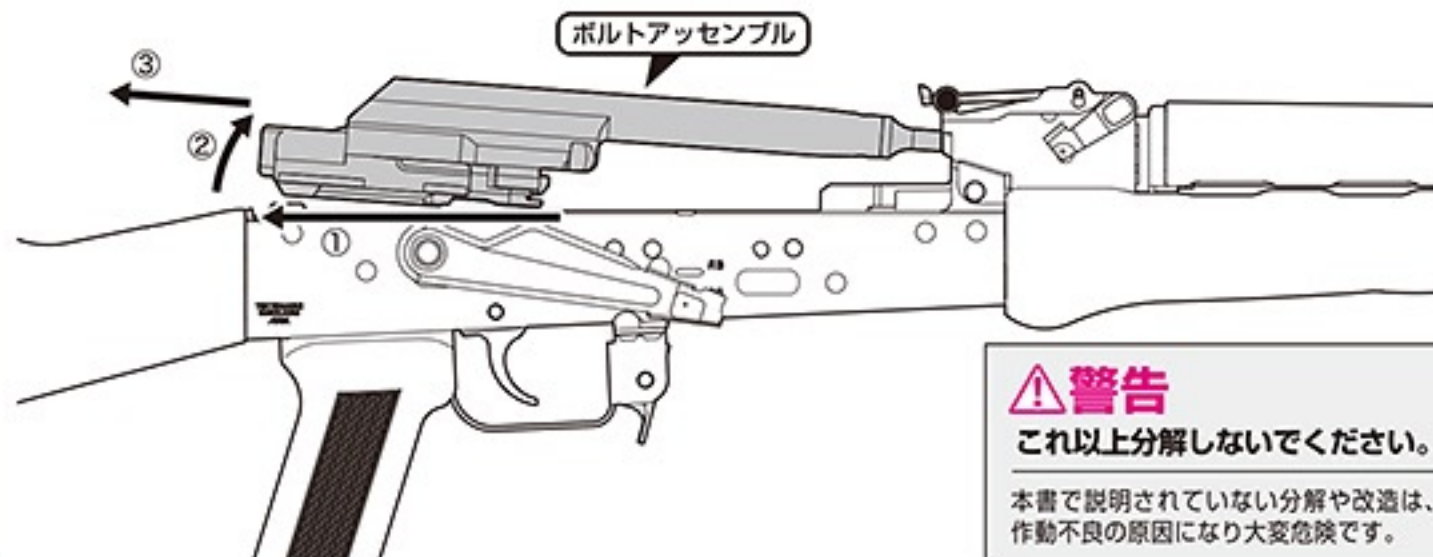
- ②①レシーバーカバーロックを押す。②レシーバーカバー後方部を上げる。③後方へ引き抜く。



- ③①リコイルガイドアッセンブルを前方へ押し込む。②そのまま後方部を上げる。③後方へ引き抜く。



- ④①ボルトアッセンブルを最後端までスライドさせる。②後端部を持ち上げる。③後方へ引き抜く。



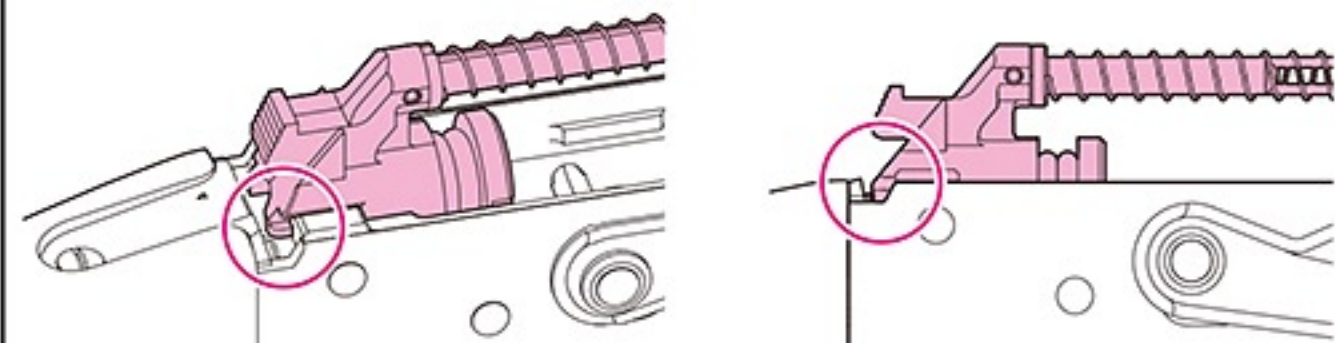
9-2 組み立て時のポイント

メンテナンスが終わったら...

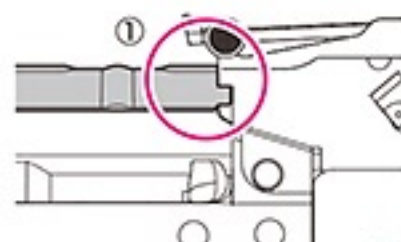
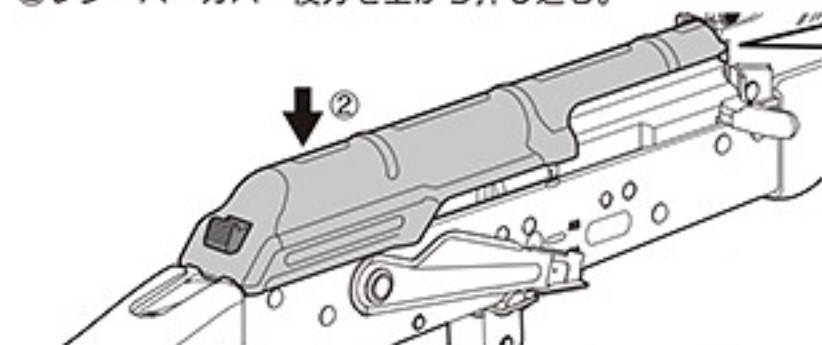
- 通常分解とは逆の手順で組み立てる。レシーバーカバーがしっかりハマっているか最終確認する。

リコイルスプリングが長いので、折れ曲がらないように注意する。

リコイルガイドアセンブリのリップ部分がレシーバーのスリットに正しくハマって下図のようにになっているか、しっかり確認してください。



- ①レシーバーカバー先端を本体にはめ込む。
②レシーバーカバー後方を上から押し込む。



レシーバーカバー先端を
本体のミゾに確実に差し込む。

- レシーバーカバーをはめ込んだらレシーバーロックが下図の正しい位置にあることを確認する。

正しい位置



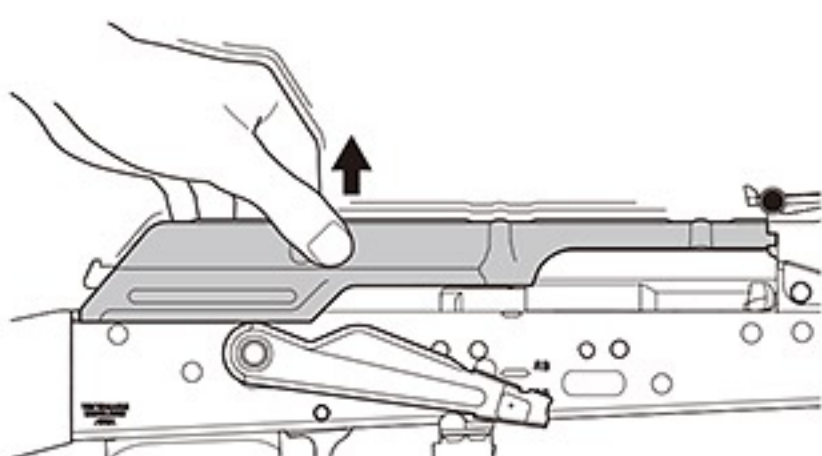
誤った位置



出っ張り量が少ない。



- レシーバーカバーを上引っ張ってしっかり固定されているか再度確認する。



警告

レシーバーカバーを装着せずに作動させないでください。
ケガをする恐れがあります。

警告

組み立て時、ボルトアセンブリを含む全てのパーツが完全に組まれている事を必ず確認してください。
紛失した場合はただちに当社アフターサービス部でお求めください。

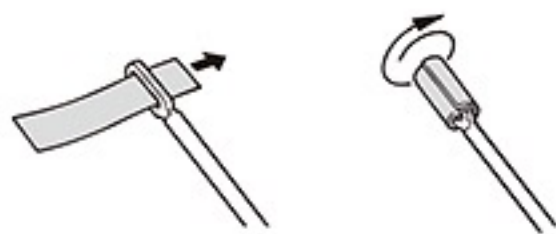
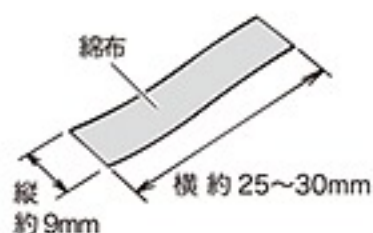
9-3 > チャンバー内のクリーニング [命中精度が落ちてきた時などに行います]

① クリーニングロッドを準備する。

※ティッシュペーパーや固いブラシなどは使用しないでください。

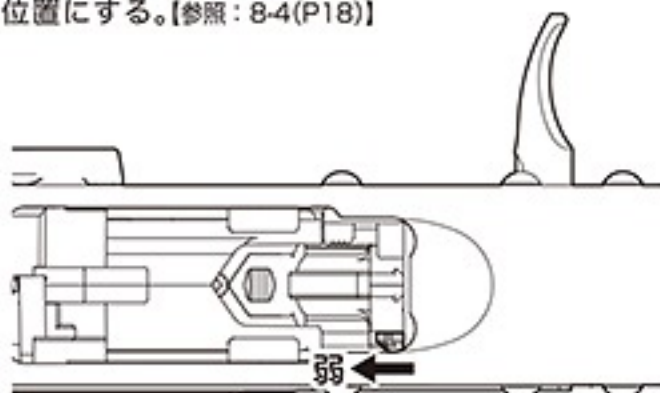
①図の大きさの、乾いた綿布を用意する。

②綿布をクリーニングロッドの穴に通して、巻きつける。



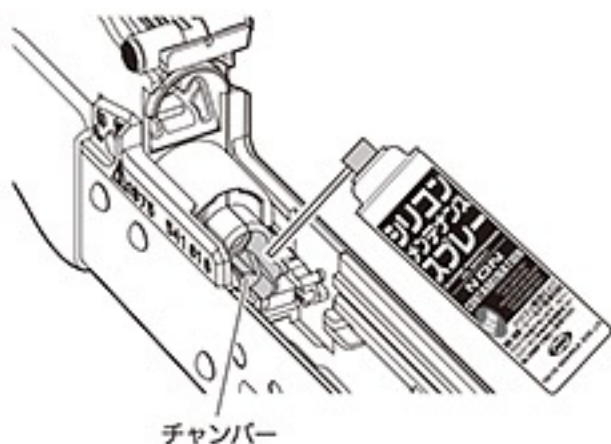
② マガジンを外す。【参照：6-1(P12)】

③ ホップダイヤルを「弱」位置にする。【参照：8-4(P18)】



④ 通常分解をする。【参照：9-1(P20)】

⑤ シリコンメンテナンススプレーを、チャンバーに軽く吹きかける。



※シリコンメンテナンススプレーは、ごく少量(0.5秒くらい)吹きかければ十分です。長く吹きかけないでください。

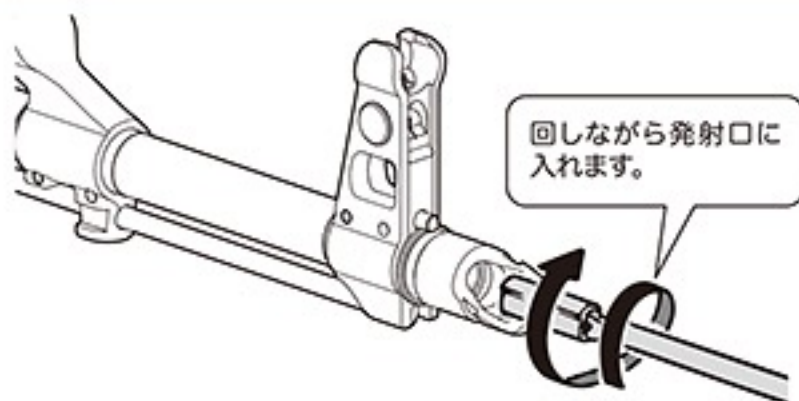
※使用するメンテナンス用品については、「9-5(P24)」をお読みください。

⑥ 用意したクリーニングロッドで、図のようにクリーニングする。

⑦ 再度組み立てる。【参照：9-2(P21)】

⑧ 60～70発ほどBB弾を発射して【参照：8-1(P15)】、余分な油分を取り除く。

※余分な油分が残っているうちは、ホップのかかりが不安定になります。

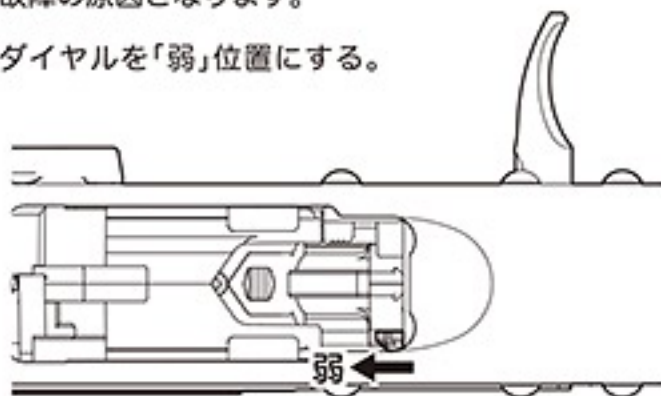


※スムーズに入らない時は、綿布の長さを短くしてください。

9-4 弾づまりの直し方

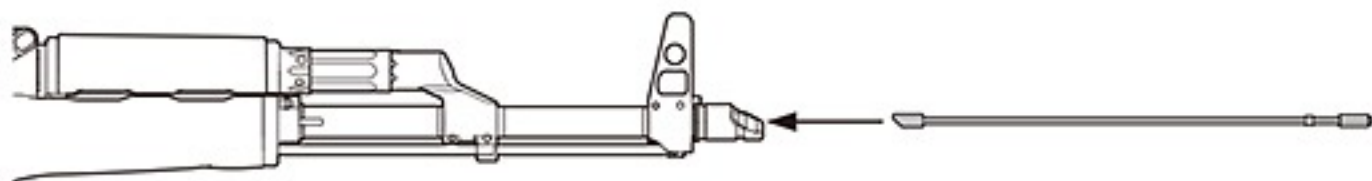
- ❗ 弾づまりを起こした時は、すぐに使用を中断してください。
そのまま使用を続けると、故障の原因となります。

- ❶ マガジンを外して、ホップダイヤルを「弱」位置にする。
【参照：8-4(P18)】



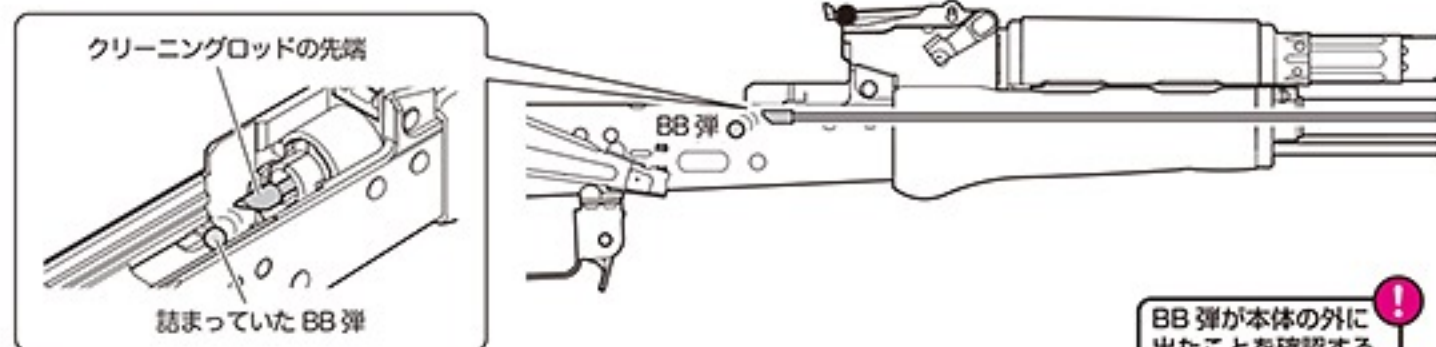
- ❷ 通常分解をする。【参照：9-1(P20)】

- ❸ 発射口からクリーニングロッドをゆっくり差しこむ。



※グリップが必ず下方の状態で作業してください。

- ❹ つまっている BB 弾を押し出す。

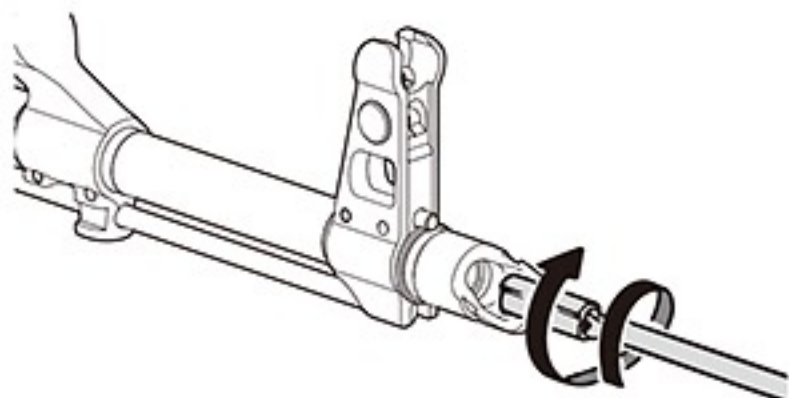


⚠ 注意 必ずグリップ側を下向きに行ってください。

上下逆向きで行うと、本体内部に BB 弾が入り込んでしまい、取り出す事ができなくなってしまいます。

- ❺ チャンバー内のクリーニングを行う。
【参照：9-3(P22)】

- ❻ 再度組み立てる。【参照：9-2(P21)】



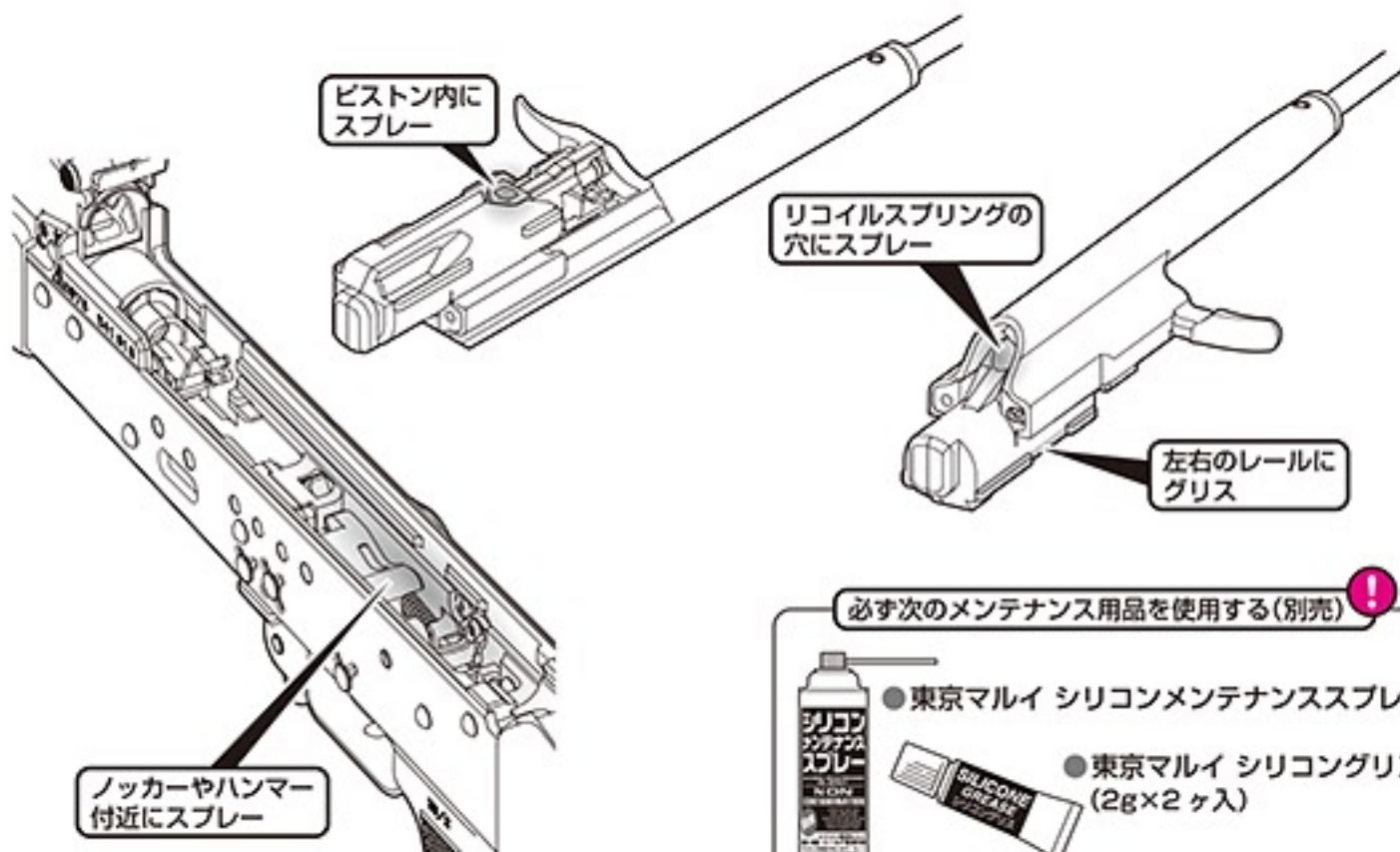
9-5 作動部への注油 [スムーズな作動を保ちます / 使用しない時でも定期的に行ってください]

① 通常分解を行う。【参照：9-1(P20)】

② 下図の通りに注油する。

※シリコンメンテナンススプレーは、ごく少量(0.5 秒くらい)吹きかければ十分です。長く吹きかけないでください。

※CRC 鉱物油などは使用しないでください。パーツがとけたり傷む原因になります。



③ 元どおりに組み立てる。【参照：9-2(P21)】

④ 60～70 発ほど BB 弾を発射して【参照：8-1(P15)】、余分な油分を取り除く。

※余分な油分が残っているうちは、ホップのかかりが不安定になります。

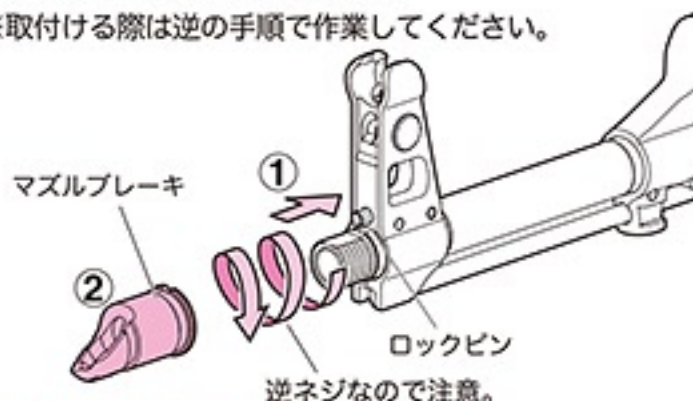
10 マズルブレーキの脱着

⚠ 別売のプロサイレンサー(ナイトタイプ / ショートタイプ)などを取付ける場合のみご参照ください。

① ロックピンを押したまま

② マズルブレーキを図のように回して外します。
(回す方向に注意してください。)

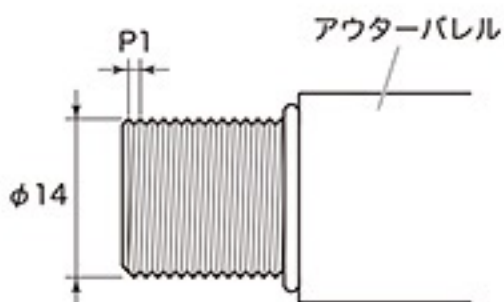
※取付ける際は逆の手順で作業してください。



⚠ 取外したパーツを紛失しないように注意してください。

※マズルオプションの取付けは、各別売パーツ付属の説明書を参照してください。

外径14mm×ピッチ1mm逆ネジ



❗ 修理を依頼される前に、必ず確認してください。

下記以外のトラブル、また下記の方法で対処しても正常に作動しない場合は、お買い求めいただいた販売店、または当社アフターサービス部までお問い合わせください。

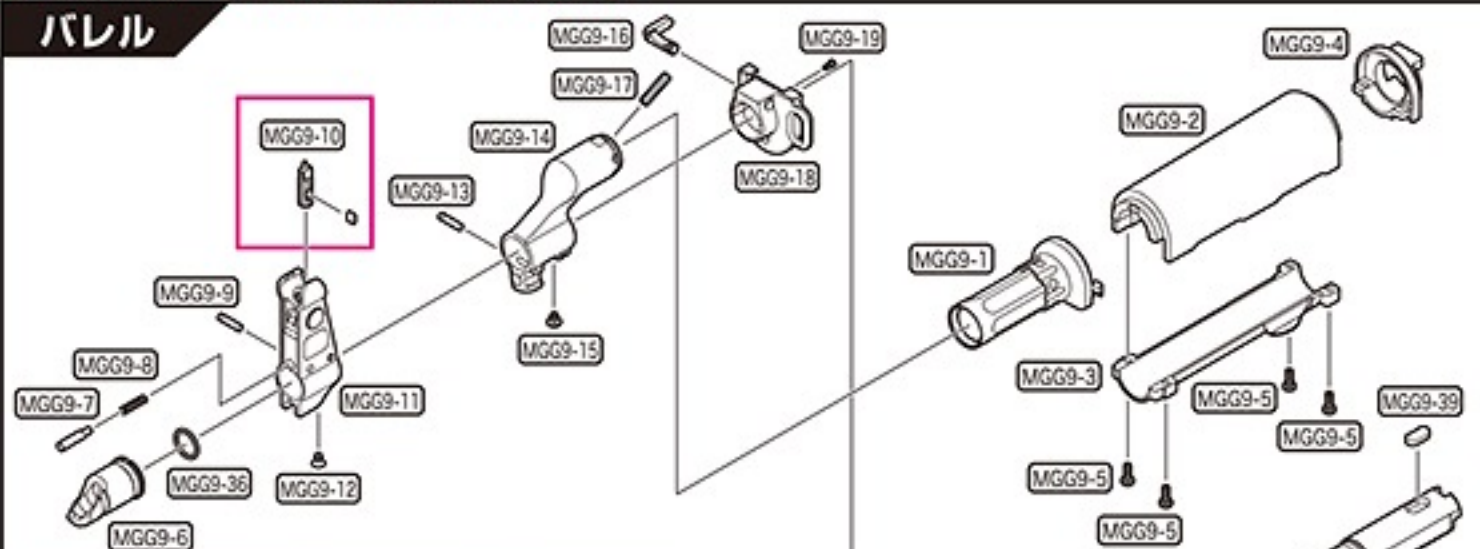
製品の状態	原因	対処方法
作動しない	セフティがかかっている	セフティを解除する【2(P7)】
	マガジンにガスを入れすぎている	放出バルブをチャージングロッドで何度か押してガスを少しずつ放出する ※ガス放出口を人に向けてない!
	マガジンのガス不足	マガジンにガスを注入する【5-2(P11)】
ブローバックするがBB弾が出ない	初弾が本体に送られていない	初弾を本体に送り込む【6-2(P12/13)】
	マガジン内にBB弾が引っかかっている	直径3ミリ位のプラスチック系の棒をマガジンに入れ、2~3度上下させ、引っかかったBB弾を取る
BB弾は発射できるがボルトの動きが悪い	マガジンが冷えている	マガジンを 20~30℃ くらいに温める【5-2④(P11)】
	気温が低すぎる (冬など)	マガジンを 20~30℃ くらいに温める【5-2④(P11)】
	マガジンにガスが無い	マガジンにガスを注入する【5-2(P11)】
	シリコンオイル、およびシリコングリス切れ	作動部への注油を行う【9-5(P24)】
ボルトが前進しない	本体内部に、BB弾や異物がつまっている	【9-4(P23)】を行い、BB弾や異物を取り除く
発射口からガスが噴き出す	気温が低すぎる (冬など)	マガジンを 20~30℃ くらいに温める【5-2④(P11)】
	マガジンが冷えている	
BB弾が上に飛ぶ	ホップのかけすぎ	ホップダイヤルを「弱」方向に少しずつ回す【8-4(P18)】
	BB弾が0.2gより軽い	0.2~0.25g の BB 弾を使用する
BB弾があまり飛ばない (ホップがかからない)	ホップの弱めすぎ	ホップダイヤルを「強」方向に少しずつ回す【8-4(P18)】
	BB弾が0.25gより重い	0.2~0.25g の BB 弾を使用する
	チャンバー内のよごれや油の付着	60~70 発ほど BB 弾を発射するか、チャンバー内のクリーニングを行う【9-3(P22)】
BB弾が発射口からこぼれる	ホップの弱めすぎ	ホップダイヤルを「強」方向に少しずつ回す【8-4(P18)】
弾づまりを起こす	ホップのかけすぎ	ホップダイヤルを「弱」方向に少しずつ回す【8-4(P18)】
	BB弾の不良、サイズが大きい	東京マルイ 0.2~0.25g BB 弾を使用する
	チャンバー内のよごれ	チャンバー内のクリーニングを行う【9-3(P22)】

パーツリスト

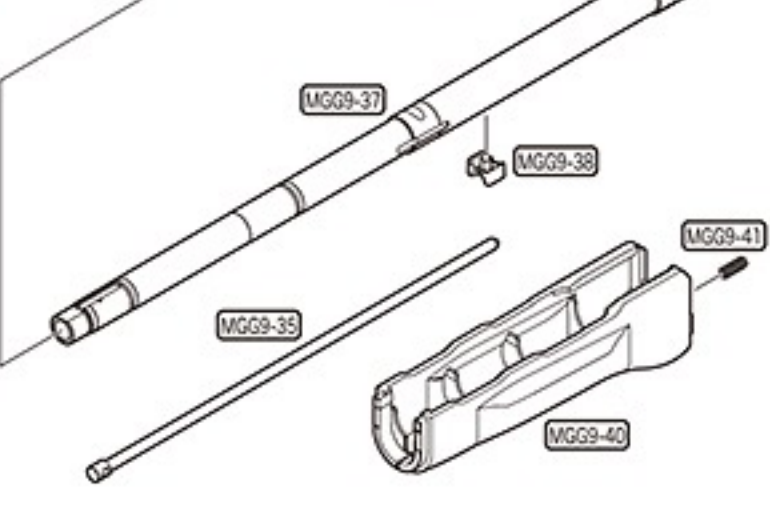
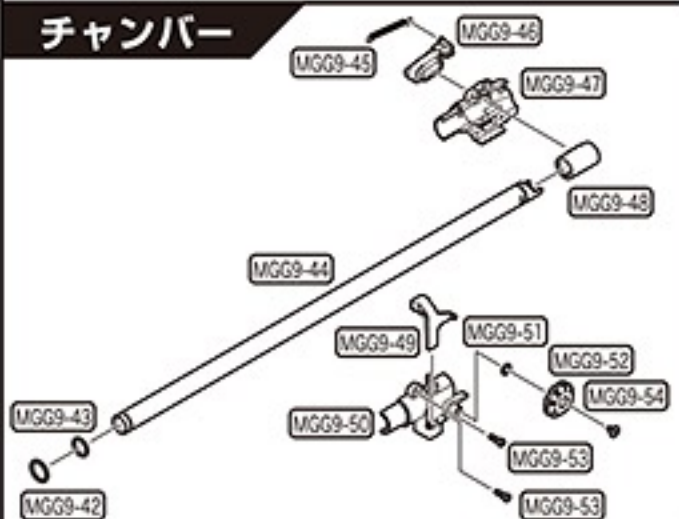
△注意

弊社生産の都合上、パーツの在庫が無い場合や次回入荷も未定である場合が起こり得ます。
ご注文の際は、事前に在庫確認をお願い致します。

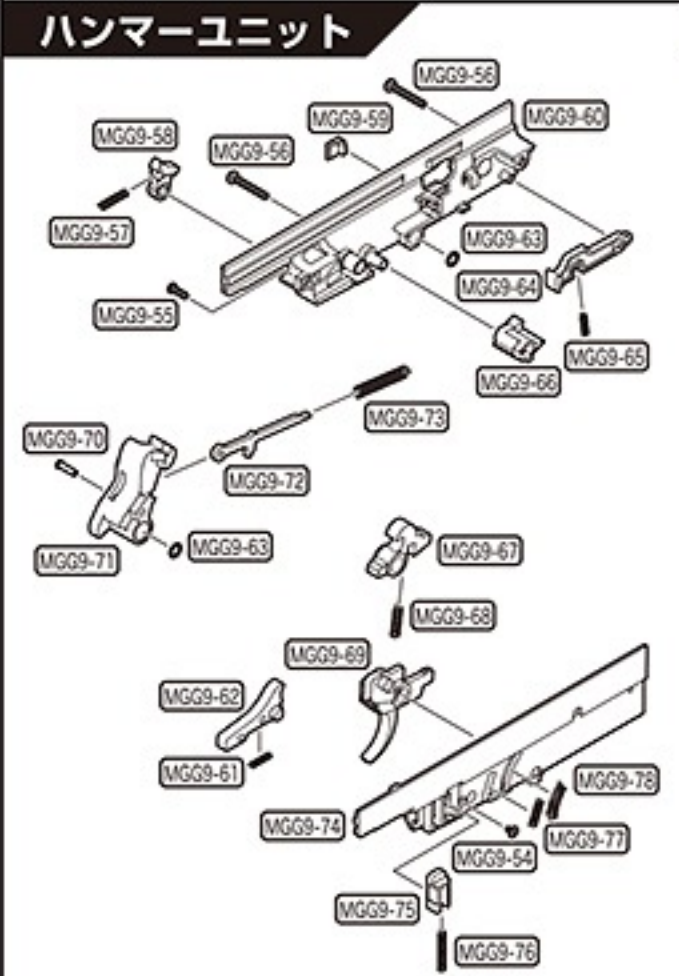
バレル



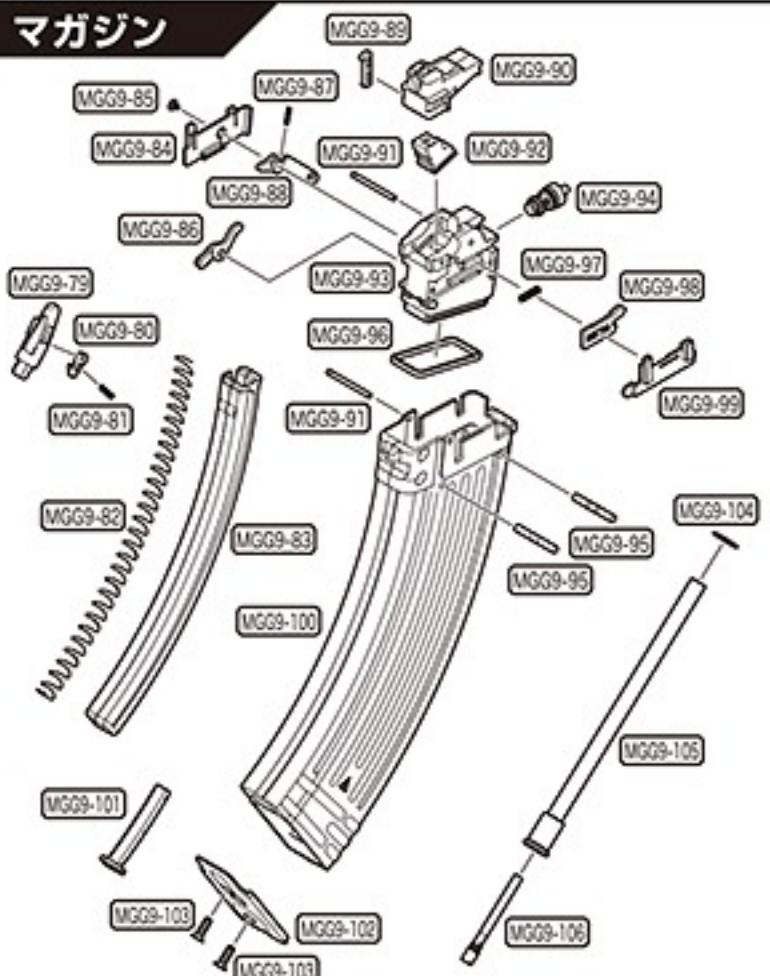
チャンバー



ハンマーユニット



マガジン

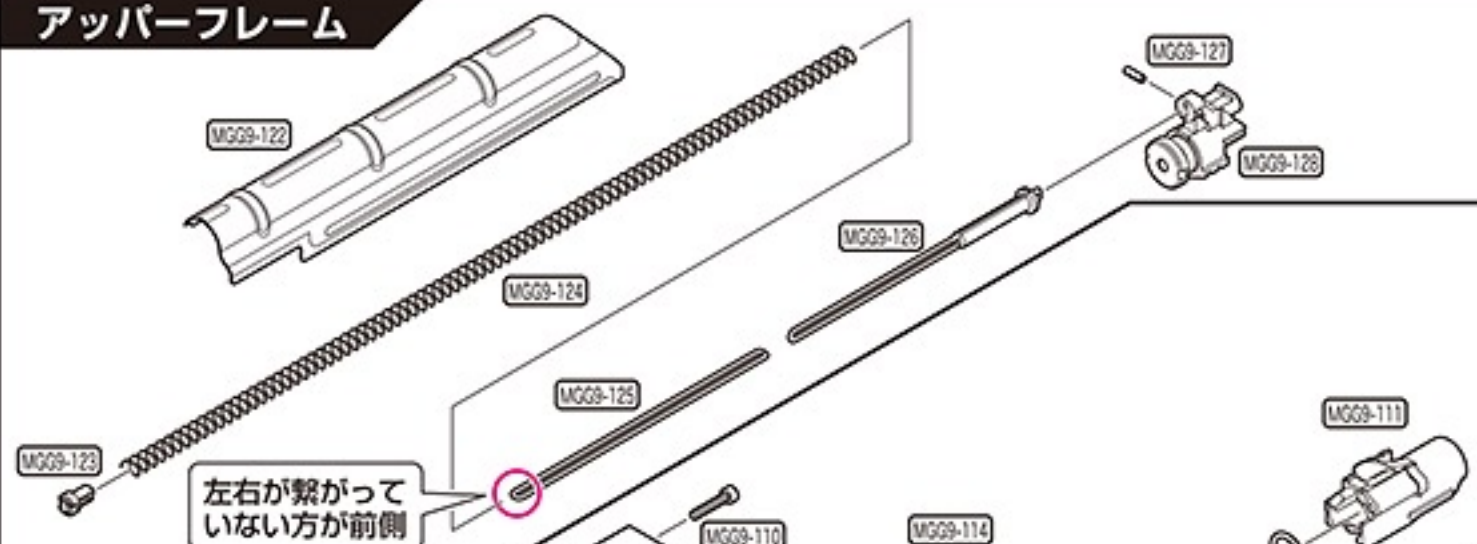


区分	パーツ No.	パ ー ツ 名	価 格	送 料
バ レ ル	MGG9-1	ガスチューブ前	1,650	☆
	MGG9-2	アッパーハンドガード	1,100	☆
	MGG9-3	ガスチューブ下	990	☆
	MGG9-4	ガスチューブ後ろ	550	120
	MGG9-5	M3×8 +ナベ	各55	120
	MGG9-6	マズルブレーキ	1,100	140
	MGG9-7	マズルストッパー	110	120
	MGG9-8	マズルストッパーSP	55	120
	MGG9-9	マズルストッパーピン	55	120
	MGG9-10	フロントサイトセット	440	120
	MGG9-11	フロントサイトブロック	1,320	☆
	MGG9-12	M3×5 六角穴付き皿	55	120
	MGG9-13	ガスブロックピン	55	120
	MGG9-14	ガスブロック	1,540	☆
	MGG9-15	M3×4 六角穴付き極薄	55	120
	MGG9-16	ロアハンドガードレバー	330	120
	MGG9-17	M4×16 止めネジ	110	120
	MGG9-18	ロアハンドガードリテイナー	990	☆
	MGG9-19	M2×4 +ナベ	55	120
リ ア サ イ ト	MGG9-20	φ5スチールボール	110	120
	MGG9-21	GロックレバーSP	55	120
	MGG9-22	Gロックレバーストッパー	55	120
	MGG9-23	GロックレバーストッパーSP	55	120
	MGG9-24	ガスチューブブロックレバー	440	120
	MGG9-25	ボルトガイドピン	110	120
	MGG9-26	リアサイトブロック	1,870	☆
	MGG9-27	M5×16 六角穴付	各165	120
	MGG9-28	M4×12 止めネジ	110	120
	MGG9-29	アウターバレルピン	55	120
	MGG9-30	リアサイトSP	330	120
	MGG9-31	ボルトガイド	275	120
	MGG9-32	アウターバレルストッパー	330	120
	MGG9-33	M4×16 +皿	110	120
	MGG9-34	リアサイトセット	1,980	140
バ レ ル	MGG9-35	ダミークリーニングロッド	880	140
	MGG9-36	Oリング 内φ11×線φ1.5	55	120
	MGG9-37	アウターバレル	4,950	○
	MGG9-38	ロッドガイド	220	120
	MGG9-39	バレルスベーター	55	120
	MGG9-40	ロアハンドガード	2,860	☆
	MGG9-41	ロアハンドガードテンショナー	55	120
チ ャ ン バ ー	MGG9-42	Oリング 内φ6×線φ1	55	120
	MGG9-43	Oリング 内φ8.8×線φ1.9	55	120
	MGG9-44	インナーバレル	4,070	☆
	MGG9-45	オートストップキャンセラーSP	55	120
	MGG9-46	オートストップキャンセラー	330	120
	MGG9-47	チャンバーカバー右	660	120
	MGG9-48	チャンバーパッキン	495	120
	MGG9-49	HOPレバー	330	120
	MGG9-50	チャンバーカバー左	660	120
	MGG9-51	Oリング 内φ3.5×線φ1	55	120
	MGG9-52	HOPダイヤル	385	120

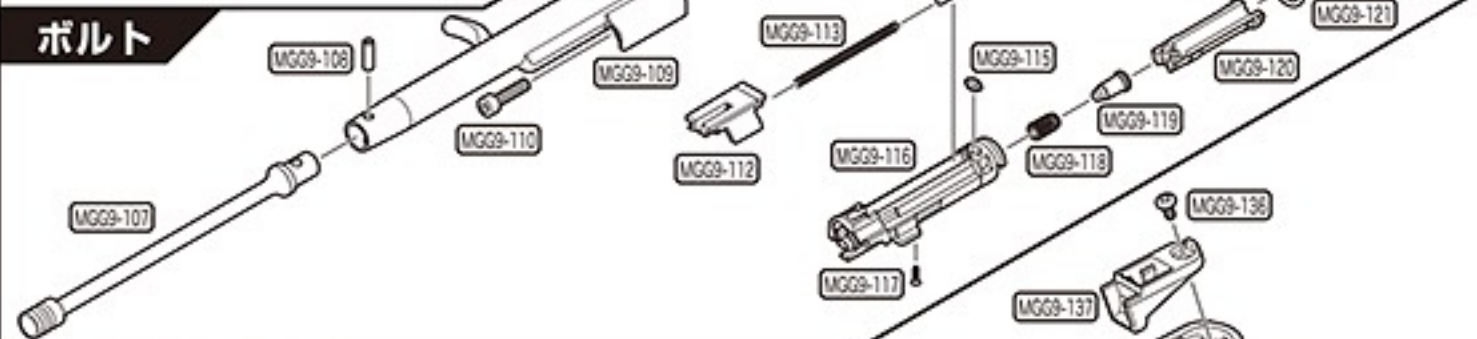
区分	パーツ No.	パ ー ツ 名	価 格	送 料
ハ ン マ ー ユ ニ ツ ト	MGG9-53	M2×6 +ナベ	各55	120
	MGG9-54	M2×3.5 +極薄	55	120
	MGG9-55	M2.6×8 +ナベ	55	120
	MGG9-56	M3×16 +ナベ	110	120
	MGG9-57	フルオートシアースP	55	120
	MGG9-58	フルオートシアース	330	120
	MGG9-59	ハンマーストラットガイド	110	120
	MGG9-60	レシーバーインナー右	1,430	☆
	MGG9-61	ノッカーSP	55	120
	MGG9-62	ノッカー	440	120
	MGG9-63	レシーバーピンリング	各55	120
	MGG9-64	セーフティラッチ	385	120
	MGG9-65	セーフティラッチSP	55	120
	MGG9-66	ハーフコックシアース	330	120
	MGG9-67	ディスコネクター	385	120
	MGG9-68	ディスコネクターSP	55	120
	MGG9-69	トリガー	660	140
	MGG9-70	ハンマーストラットピン	55	120
	MGG9-71	ハンマー	880	140
マ ガ ジ ン	MGG9-72	ハンマーストラット	330	120
	MGG9-73	ハンマーSP	275	120
	MGG9-74	レシーバーインナー左	1,430	☆
	MGG9-75	ノッカーロック	385	120
	MGG9-76	ノッカーロックSP	55	120
	MGG9-77	ハーフコックシアースP	55	120
	MGG9-78	トリガーSP	55	120
	MGG9-79	フォロアー	220	120
	MGG9-80	フォロアーレバー	88	120
	MGG9-81	フォロアーレバーSP	55	120
	MGG9-82	マガジンSP	440	120
	MGG9-83	マガジンルート	880	120
	MGG9-84	サイドプレート右	220	120
	MGG9-85	M1.6×3 +極薄	55	120
	MGG9-86	フォロアーリンクA	165	120
	MGG9-87	フォロアーリンクB SP	55	120
	MGG9-88	フォロアーリンクB	330	120
	MGG9-89	フォロアーアシスト	110	120
	MGG9-90	マガジンリップ	330	120
	MGG9-91	マガジンリップピン	各110	120
	MGG9-92	マガジンガスケツト	330	120
	MGG9-93	マガジンインナー	1,100	☆
	MGG9-94	放出バルブ	770	120
	MGG9-95	マガジンインナーピン	各165	120
	MGG9-96	Oリング 内φ28×線φ2	165	120
	MGG9-97	フォロアーリンクC SP	55	120
	MGG9-98	フォロアーリンクC	275	120
	MGG9-99	サイドプレート左	275	120
	MGG9-100	マガジンケース	3,080	☆
	MGG9-101	フォロアーガイド	220	120
	MGG9-102	マガジンプレート	825	120
	MGG9-103	M3×10 六角穴付皿	各110	120
	MGG9-104	Oリング 内φ8.38×線φ1.27	55	120

パーツリスト

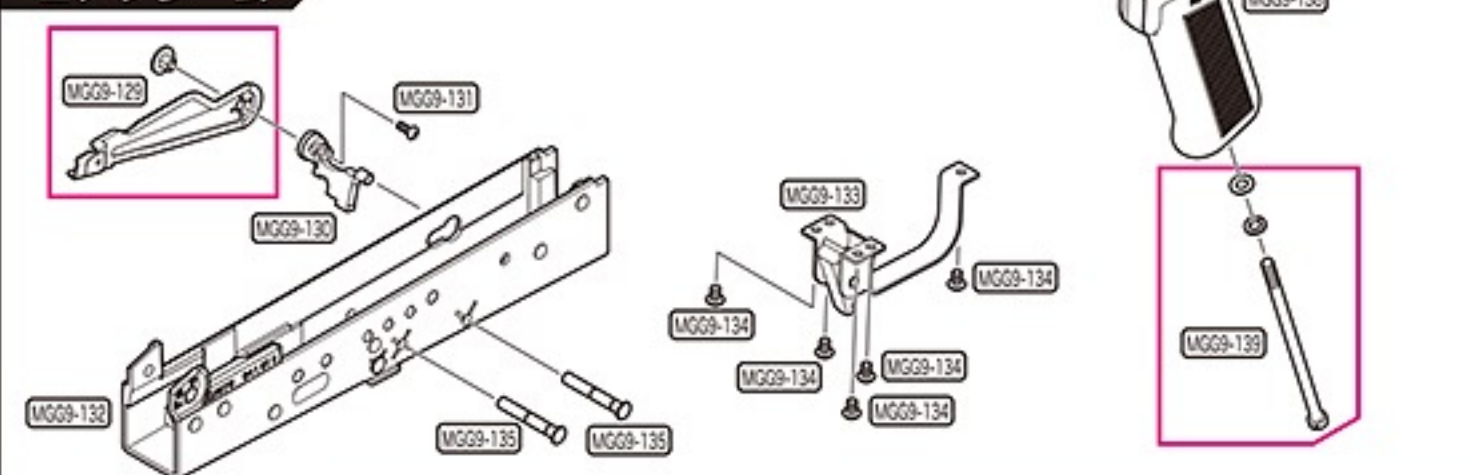
アッパーフレーム



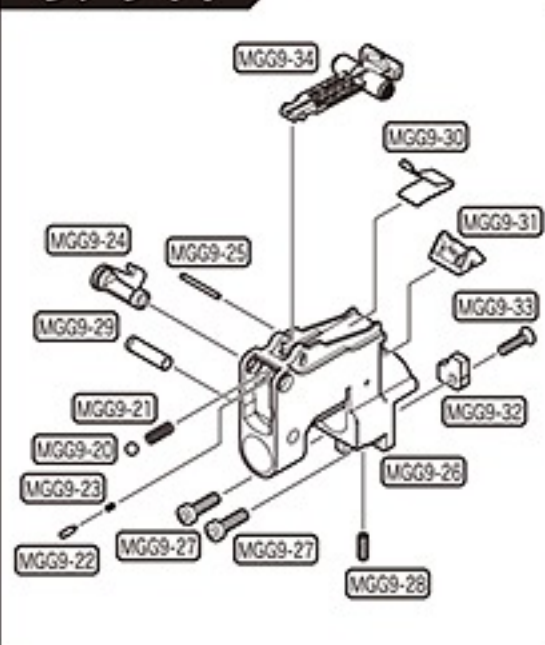
ボルト



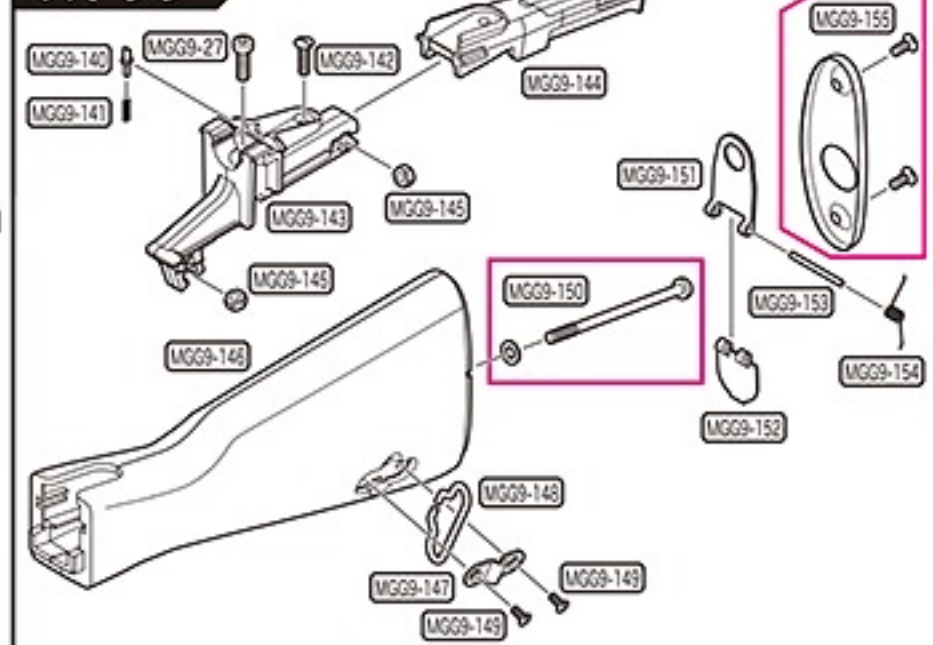
ロアフレーム



リアサイト



ストック



[illegible]

※パーツリストの価格は税込み価格です。

※製品（パーツ）の仕様や価格は、予告なく変わる場合があります。

[illegible]

区分	パ ー ツ 名	価 格	送 料
付 属 品	AK用サイトアジャストツール	165	120
	AKM用保護キャップ	110	120
	クリーニングロッド	220	◇
	チャージャーセット	363	210
別 売 ア ク セ サ リ	AK用スベアマガジン（装弾数35発）	6,028	☆
	シリコングリス（2g×2ヶ入）	330	140
	シリコンメンテナンススプレー	528	350
	プロゴーグル L（クリアー/スモーク）	968	250
	プロゴーグル S（クリアー/スモーク/イエロー/レッド）	748	250
	プロゴーグル フルフェイスバージョン	9,680	○

☆:ゆうバック60サイズ

○:ゆうバック80サイズ

◇:ゆうパック100サイズ

AKMの修理について

この製品は、最適な性能・操作性を十分に考慮した上で製造されていますが、正しい操作による通常の使用状態でも、約10,000回の発射回数を超えたと、パーツの交換等が必要となります。このような耐用期間を過ぎたパーツの交換、及び故障、又は、操作ミスによる故障、及びメンテナンスの場合は、お問い合わせいただいたお店、又は当社アフターサービス部までお問い合わせください。

改造などを施した製品、及び分解・改造によって発生した事件、事故、怪我、故障につきましては、当社では一切の責任を負いません。

■修理依頼品を当社アフターサービス部まで直接お送りいただける場合



※web サイト上から修理依頼書をコピーできます。

- まずは、①製品名、②故障内容、③ご住所、④お名前、⑤年令、⑥(日中ご連絡のつく)電話番号、⑦郵便番号を明記したメモを書きます。
- 修理依頼品の往復送料は、基本的にお客様のご負担になりますのでご了承ください。



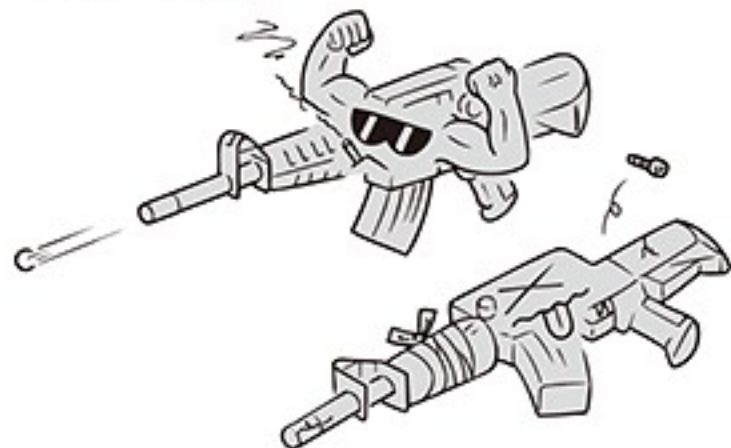
- 時期により修理パーツの不足、又は修理依頼品が混んでいる場合がありますので、事前に当社アフターサービス部までお問い合わせください。



- 当社アフターサービス部まで直接お送りいただく修理依頼品は、BB弾およびガスを抜き、セフティONにして、保護キャップを装着した安全な状態でお送りください。
- 修理依頼品には、必ず①～⑦を記載したメモを同封してください。(メモははっきりとお書きください。)
- 輸送中にキズや破損の可能性がありますので、しっかり梱包してください。

■以下の場合には修理をお受けできないことがあります。

- 安全性に問題のある改造品、性能アップを目的とした改造パーツが組み込まれた製品、又は分解・改造の形跡がある製品等。



- 〈取扱説明書〉にある正しい使用方法以外での使用が見受けられる製品等。



- 指定外のガスやBB弾等の使用による故障・破損等。



各種パーツ&別売アクセサリのご注文

- 本製品のパーツをお求めの方は、P26～29 のパーツリストから必要なパーツの No.、パーツ名、個数をご記入いただいた注文書(下の表をご利用いただくか、表の内容に準じたメモ等)と共に、代金+送料の小為替、又は現金書留にて、当社パーツ係(住所同じ)までお申し込みください。
(合計金額が¥500 以下の場合、切手で代用できます。)
- 複数ご注文される場合の送料は、事前に当社パーツ係までお問い合わせください。
- 時期によりパーツの在庫が不足している場合があります。予めご了承願います。
- パーツ名、あなたの住所、氏名、年令、郵便番号、電話番号は、はっきりとお書きください。記入内容が不明瞭な場合や注文書が同封されていない場合は、発送する事ができません。



各種お問い合わせ先 / 修理のお申し込み・発送先



東京マルイ アフターサービス部

〒120-0005 東京都足立区綾瀬 5-17-1

【営業時間】 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:30 (土日祝除く)

東京マルイ Web サイト <https://www.tokyo-marui.co.jp/> 株式会社 東京マルイ 本社：東京都足立区綾瀬 4-16-16

- 商品に関するお問い合わせ 03-3605-3378
- 修理に関するお問い合わせ 03-3605-3373
- パーツに関するお問い合わせ 03-3605-9669

東京マルイ ガスブローバックシリーズ AKM パーツ注文書

※当社へ直接部品をご注文なさる場合は、下の表内容に準じメモ等に明記いただくか、表をコピー(拡大可)して記入し、金額を同封し、お送りください。

年 月 日

製品名	ガスブローバックシリーズ「AKM」		
ご住所	〒□□□-□□□□		
フリガナ		電話番号 または 携帯番号	- -
お名前	年令()才		

パーツ No.	パーツ名	価格	個数	合計額

合計金額(パーツ総額+送料)

¥



部品総額(=小計) ¥

送料 ¥

※複数ご注文の場合、送料はあらかじめお問い合わせください。
 ※日中ご不在で、複数パーツの送料の確認をする事ができない方は、パーツ表にある送料の一番高い金額をお送りください。差額は切手等でご返却させていただきます。各一点ごとの送料全てを合計する必要はありません。送り先、在庫等こちらからご連絡させて頂く場合がありますので、ご連絡先を必ずご記入ください。

連絡事項



<https://www.tokyo-marui.co.jp/>

日本国の銃刀法をクリアーされた、高い命中精度をそなえた高性能エアソフトガンです。



警告

 18才以上	●このエアソフトガンは、使用者、管理者対象年齢18才以上用の競技専用エアソフトガンです。 18才未満の方は、ご使用、またはお買い求めになれません。
 ケガ注意	●発射したプラスチックBB弾を、およそ40～50m先に到達させる能力がありますので、 不注意な発射や誤ったご使用は、失明や怪我等の危険を生じます。
 注意書熟読	●ご使用前に、必ず「取扱注意・説明書」を最後まで読んで、記載されている各注意点をよく 認識した上でご取扱ください。

●「取扱注意・説明書」を紛失された場合は、すぐに当社アフターサービス部までお求めください。

東京マルイの製品は、改正銃刀法をすべてクリアーしています。

改造などを施した製品、及び分解・改造によって発生した事件、事故、怪我、故障につきましては、当社では一切の責任を負いません。